

2015年度（16年3月期） 決算概要

2016年4月28日

日本電気株式会社

(<http://jpn.nec.com/ir>)

目次

I.2015年度 決算概要（日本基準）

II.2016年度 業績予想（国際財務報告基準：IFRS）

2015年度 決算概要（補足）

2016年度 業績予想（補足）

参考資料（業績データ）

- ※ 15年度実績の「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」、15年度実績/16年度予想の「当期利益」は、「親会社の所有者に帰属する当期利益」の金額を表示
- ※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり

I.2015年度 決算概要（日本基準）

売上高

前年度比
予想比 $\triangle 3.9\%$
 $\triangle 788$ 億円

前年度比で減収

- ・ エンタープライズが大幅に増加も、パブリック、テレコムキャリア、その他が減少

営業利益

前年度比
予想比 $\triangle 208$ 億円
 $+73$ 億円

前年度比で減益も、1,000億円を確保

- ・ エンタープライズやシステムプラットフォームが増加も、パブリックやテレコムキャリアが減少

当期純利益

前年度比
予想比 $+114$ 億円
 $+37$ 億円

前年度比で増益、期初計画、中計目標を過達

- ・ 子会社解散に伴う税金費用の減少などが寄与

期末配当6円を決定

※ 予想比は、2016年2月29日時点の予想と実績との差異

(億円)

	第4四半期 <1~3月>			通期			2/29 予想比
	14年度 実績	15年度 実績	前年 同期比	14年度 実績	15年度 実績	前年度比	
売上高	9,335	8,721	△ 6.6%	29,355	28,212	△ 3.9%	△ 788
営業利益	924	890	△ 34	1,281	1,073	△ 208	+ 73
対売上高比率 (%)	9.9%	10.2%		4.4%	3.8%		
経常利益	757	675	△ 82	1,121	827	△ 294	△ 23
対売上高比率 (%)	8.1%	7.7%		3.8%	2.9%		
当期純利益	345	684	+ 339	573	687	+ 114	+ 37
対売上高比率 (%)	3.7%	7.8%		2.0%	2.4%		
フリー・キャッシュ・フロー	1,161	1,146	△ 15	404	656	+ 252	+ 56
参考：売上平均為替レート (円)	1 ドル	118.78	118.42	108.42	120.75		
	1 ユーロ	139.75	129.54	139.68	132.99		

参考：15年度4Qの為替レート前提 1ドル=115円、1ユーロ=130円

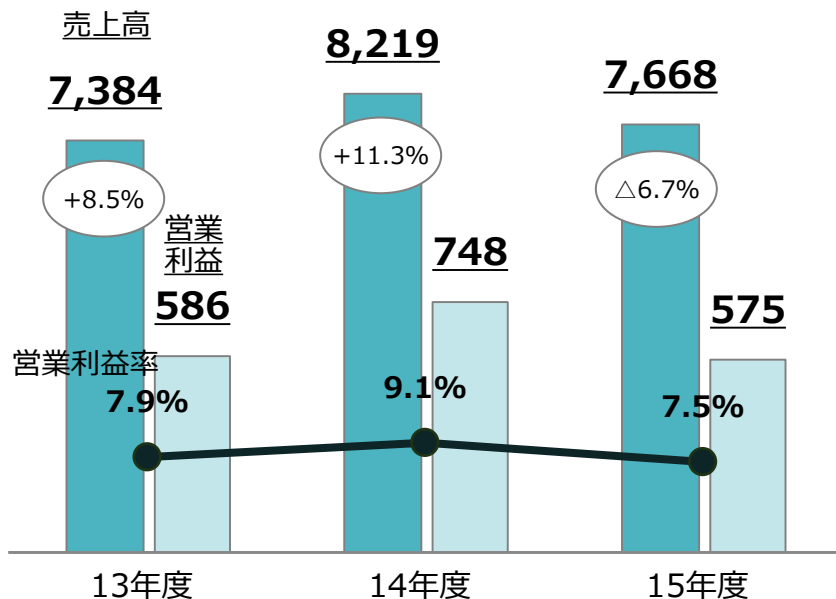
セグメント別 2015年度実績サマリー

15実績
(日本基準)

			第4四半期 <1~3月>			通期			(億円)
			14年度 実績	15年度 実績	前年 同期比	14年度 実績	15年度 実績	前年度比	2/29 予想比
パブリック エンタープライズ テレコムキャリア システム プラットフォーム その他 消去・配賦不能	売上高	営業利益	2,959	2,711	△ 8.4%	8,219	7,668	△ 6.7%	△ 332
	営業利益	営業利益率 (%)	371	351	△ 20	748	575	△ 172	△ 45
	営業利益率 (%)		12.5%	12.9%		9.1%	7.5%		
	売上高	営業利益	826	830	+ 0.4%	2,705	3,007	+ 11.2%	△ 63
	営業利益	営業利益率 (%)	55	96	+ 41	83	222	+ 139	+ 22
	営業利益率 (%)		6.7%	11.5%		3.1%	7.4%		
合 計	売上高	営業利益	2,369	2,122	△ 10.4%	7,402	6,989	△ 5.6%	△ 111
	営業利益	営業利益率 (%)	366	292	△ 74	620	456	△ 164	+ 46
	営業利益率 (%)		15.4%	13.7%		8.4%	6.5%		
	売上高	営業利益	2,130	2,098	△ 1.5%	7,289	7,285	△ 0.0%	△ 145
	営業利益	営業利益率 (%)	183	244	+ 61	314	375	+ 61	+ 15
	営業利益率 (%)		8.6%	11.6%		4.3%	5.2%		
合 計	売上高	営業損益	1,051	960	△ 8.7%	3,741	3,262	△ 12.8%	△ 138
	営業損益	営業利益率 (%)	99	24	△ 75	40	△ 89	△ 129	△ 29
	営業利益率 (%)		9.4%	2.5%		1.1%	-2.7%		
	営業損益		△ 149	△ 116	+ 33	△ 524	△ 467	+ 57	+ 63
	売上高	営業利益	9,335	8,721	△ 6.6%	29,355	28,212	△ 3.9%	△ 788
	営業利益	営業利益率 (%)	924	890	△ 34	1,281	1,073	△ 208	+ 73
	営業利益率 (%)		9.9%	10.2%		4.4%	3.8%		

(億円)

前年度比



売上高 7,668億円 (△6.7%)

- 前年にあった大型案件の売上が減少したことなどにより官公向けを中心に減少

営業利益 575億円 (△172億円)

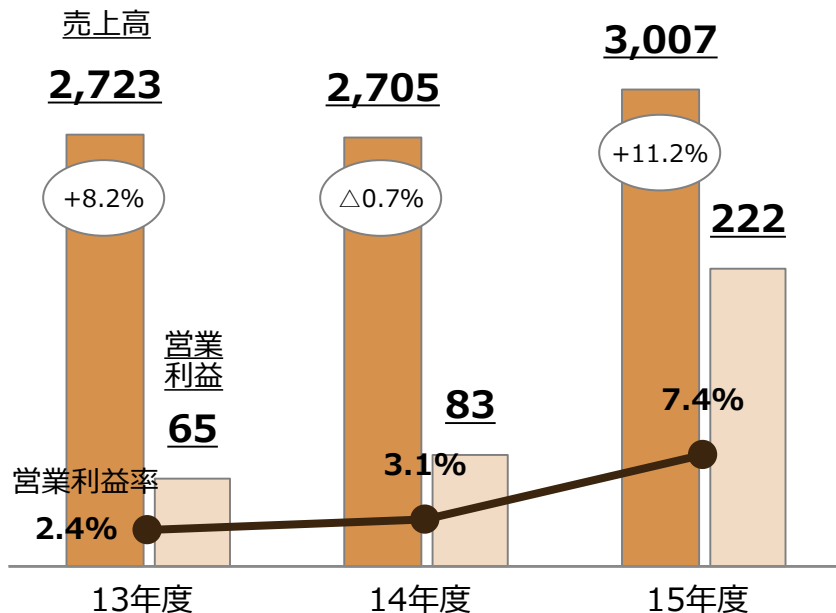
- 売上減に加え、不採算案件の増加などにより減益



※ カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比



売上高 3,007億円 (+11.2%)

- 流通・サービス業向け、製造業向けともに大型案件があったことなどにより増加

営業利益 222億円 (+139億円)

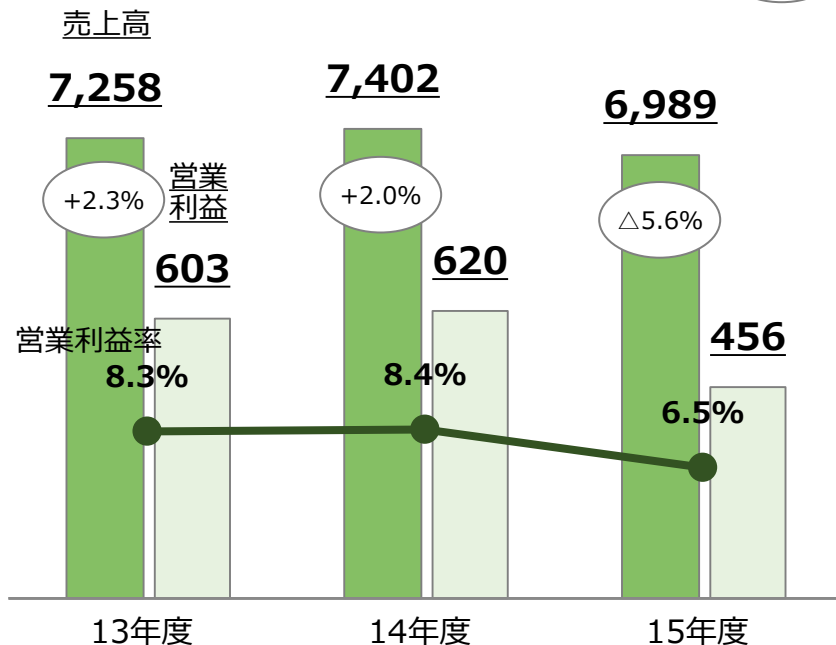
- 売上増に加え、システム構築サービスの収益性改善などにより増益



※ カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比



売上高 6,989億円 (△5.6%)

- 国内事業は減少
- 海外は海洋システムを中心に増加

営業利益 456億円 (△164億円)

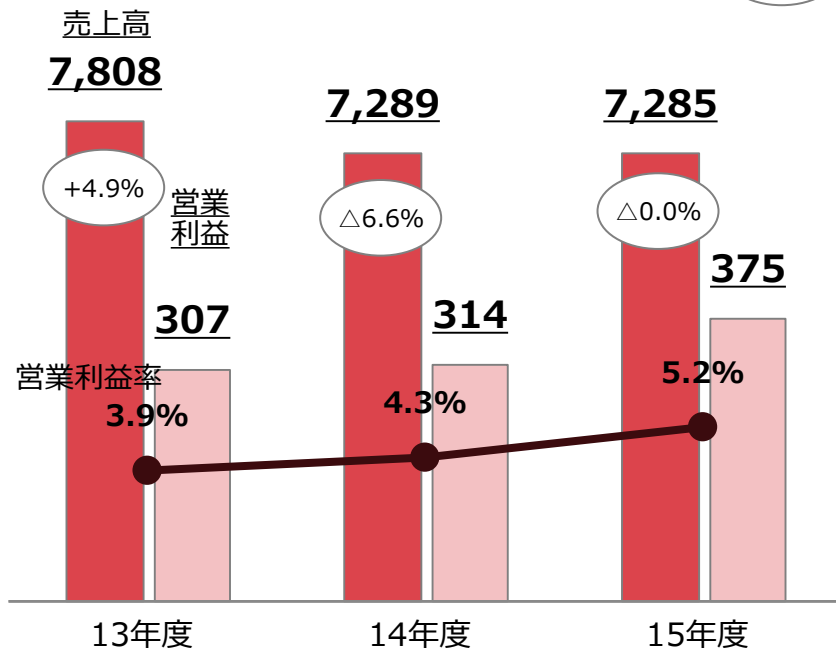
- 売上減に加え、海外プロジェクトでの不採算案件の発生などにより減益



※ カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比



売上高 7,285億円 (△0.0%)

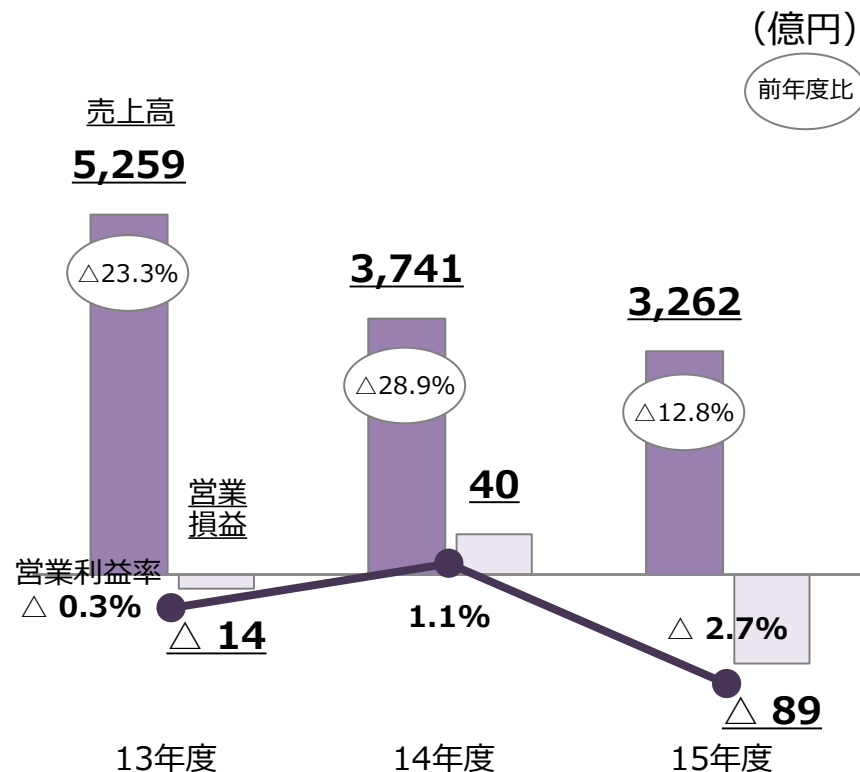
- ハードウェアが増加も、保守サービスの減少などにより横ばい

営業利益 375億円 (+61億円)

- ハードウェアを中心とした収益性改善などにより増益



※ カッコ内の%は前年度比



売上高 3,262億円 (△12.8%)

- 物流サービス事業の非連結化の影響やエネルギー事業、携帯電話端末事業の減少などにより減収

営業損益 △89億円 (△129億円)

- エネルギー事業の売上減および採算悪化などにより減益



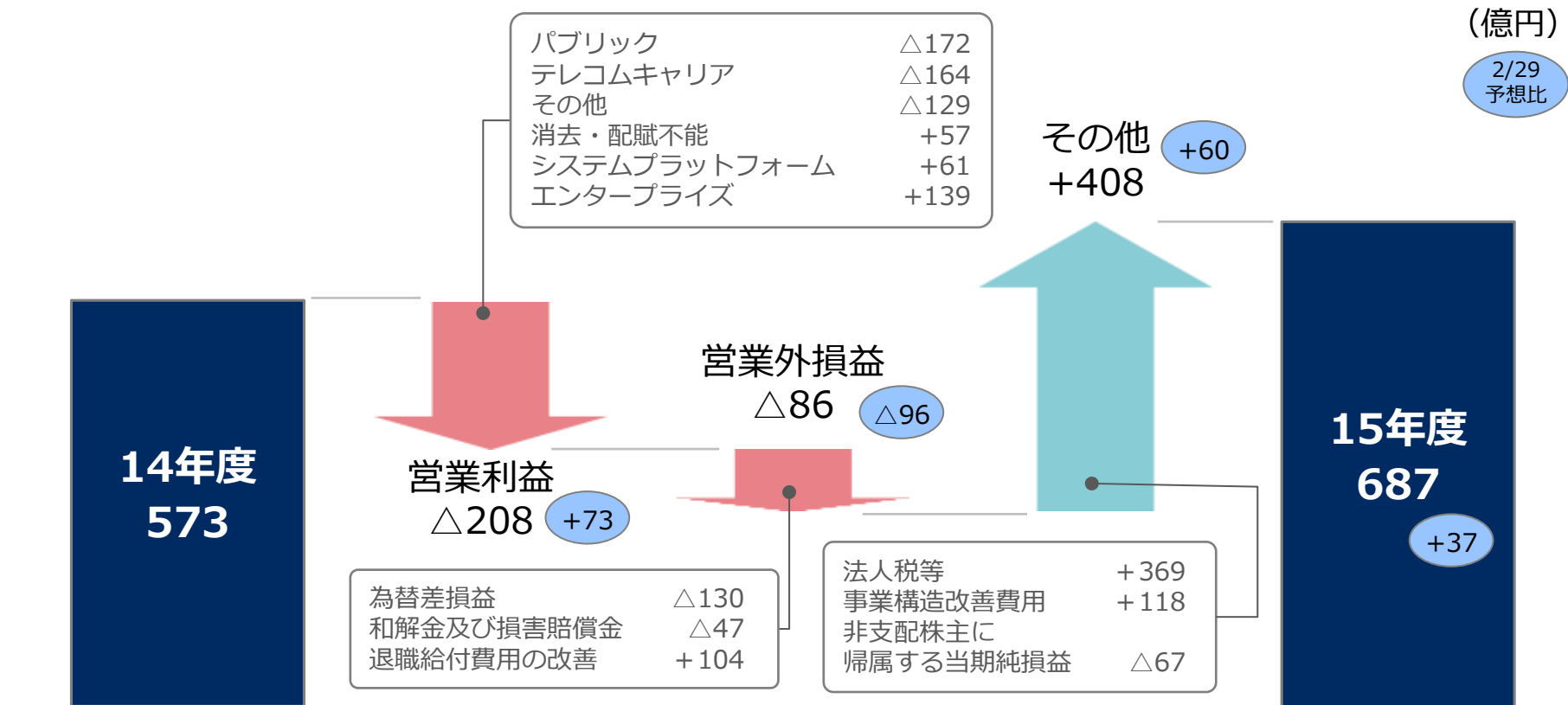
※ カッコ内の%は前年度比

当期純利益増減（前年度比）

15実績
(日本基準)

(億円)

2/29
予想比



Ⅱ.2016年度 業績予想（IFRS）

会計基準 開示時期	日本基準	IFRS
2016年4月	決算短信（15年度 実績）	決算短信（16年度 業績予想）
	連結財務諸表	連結損益計算書サマリー
	セグメント別売上高・営業損益 （15年度実績）	セグメント別売上高・営業損益 （15年度実績、16年度予想）
2016年6月	有価証券報告書	—
2016年7月～	—	四半期決算短信
		四半期報告書

※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり

当期利益500億円を達成し、年間配当6円の継続を実現

(億円)

	通期		
	15年度 実績	16年度 予想	前年度比
売上高	28,248	28,800	+ 2.0%
営業利益	914	1,000	+ 86
対売上高比率 (%)	3.2%	3.5%	
当期利益	759	500	△ 259
対売上高比率 (%)	2.7%	1.7%	

1株当たり配当金 (円)	6.00	6.00	0.00
--------------	------	------	------

参考：売上平均為替レート (円)	1ドル	120.75	115.00
	1ユーロ	132.99	125.00

		通期		
		15年度 実績	16年度 予想	前年度比
パブリック	売上高 営業利益 営業利益率 (%)	7,716 573 7.4%	7,350 690 9.4%	△ 4.7% + 117
エンタープライズ	売上高 営業利益 営業利益率 (%)	3,003 239 8.0%	3,050 190 6.2%	+ 1.6% △ 49
テレコムキャリア	売上高 営業利益 営業利益率 (%)	6,975 465 6.7%	7,050 480 6.8%	+ 1.1% + 15
システム プラットフォーム	売上高 営業利益 営業利益率 (%)	7,286 317 4.4%	7,550 320 4.2%	+ 3.6% + 3
その他	売上高 営業損益 営業利益率 (%)	3,268 △ 182 -5.6%	3,800 10 0.3%	+ 16.3% + 192
消去・配賦不能	営業損益	△ 498	△ 690	△ 192
合 計	売上高 営業利益 営業利益率 (%)	28,248 914 3.2%	28,800 1,000 3.5%	+ 2.0% + 86

※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり。予想値は、2016年4月28日現在

業績予想サマリー（日本基準 → IFRS）

16予想
(IFRS)

(億円)

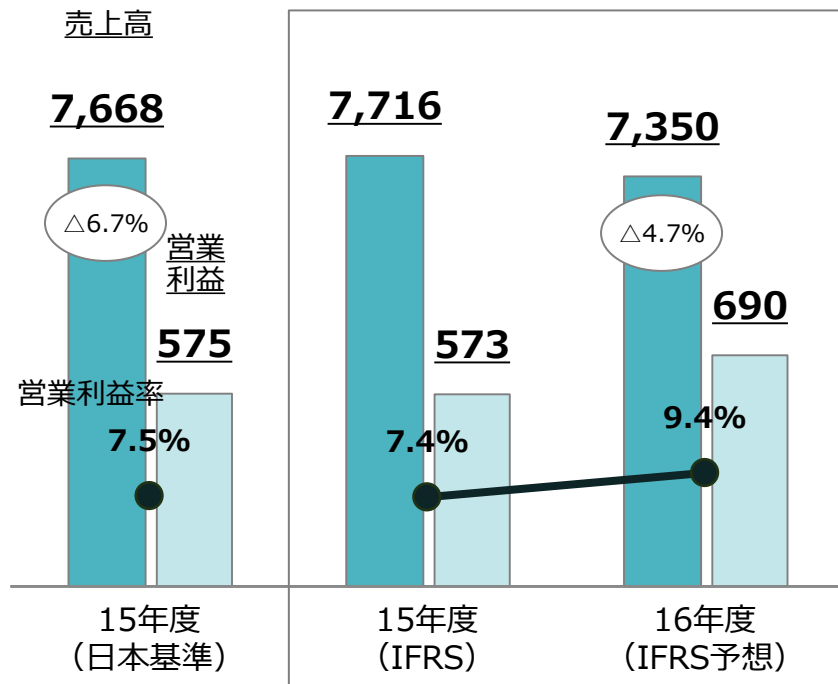
	通期								
	15年度							16年度 予想 (IFRS)	前年度比
	実績 (日本基準)	計				実績 (IFRS)			
	のれん	年金費用	表示組替	その他					
売上高	28,212				37	37	28,248	28,800	+ 2.0%
営業利益 対売上高比率 (%)	1,073 3.8%	106	△ 13	△ 256	4	△ 159	914 3.2%	1,000 3.5%	+ 86
営業外損益	△ 246			246		246			
金融損益等*		8	△ 1	△ 38	△ 18	△ 49	△ 49		
特別損益	△ 48			48		48			
税前利益	779	114	△ 14		△ 14	86	866		
当期利益 対売上高比率 (%)	687 2.4%	114	△ 10		△ 32	72	759 2.7%	500 1.7%	△ 259

* 金融収益および金融費用、持分法による投資損益

※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり。予想値は、2016年4月28日現在

(億円)

前年度比



売上高 7,350億円 (△4.7%)

- 官公向けが増加するものの、公共向けが減少し、減収*を見込む

*一部事業の移管 (△約400億円) を含む

営業利益 690億円 (+117億円)

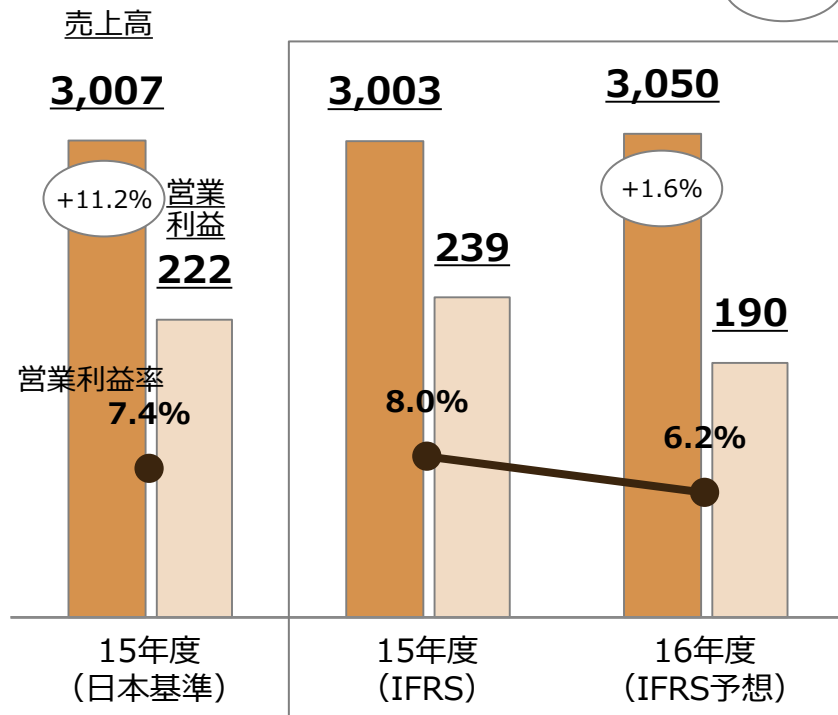
- 不採算案件の減少や原価低減の推進などにより増益を見込む



※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり。予想値は、2016年4月28日現在、カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比



売上高 3,050億円 (+1.6%)

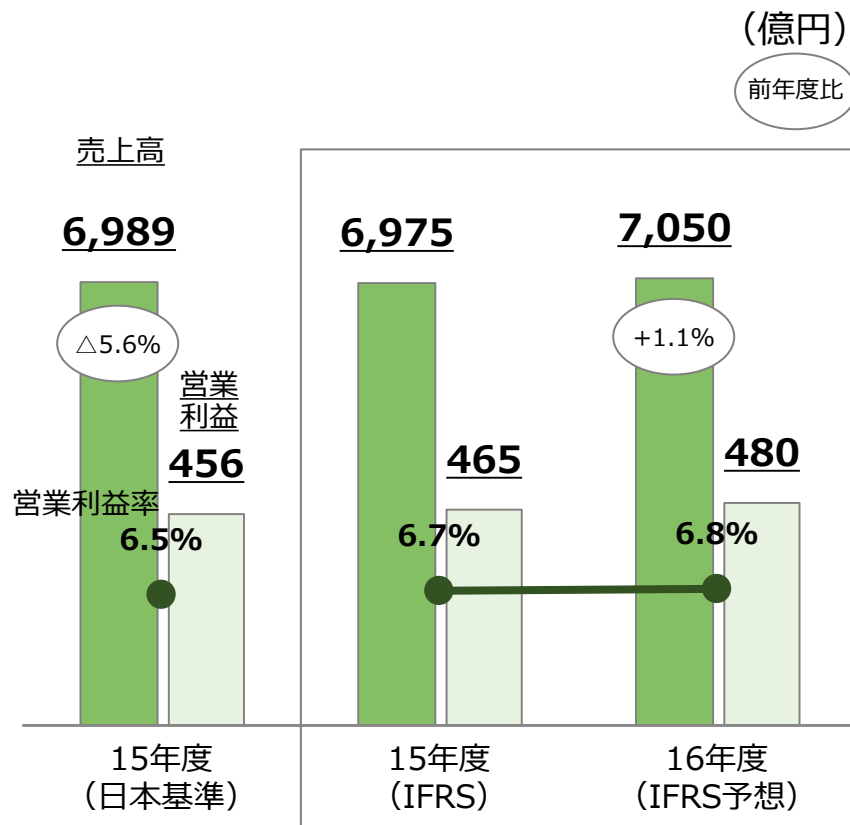
- 製造業向けを中心に増加を見込む

営業利益 190億円 (△49億円)

- プロジェクトミックスの悪化に加え、リテール向けITサービス事業における投資増などにより減益を見込む



※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり。予想値は、2016年4月28日現在、カッコ内の%は前年度比



売上高 7,050億円 (+1.1%)

- 海外はTOMSやSDN/NFVを中心に増加を見込む
- 国内事業は減少を見込む

営業利益 480億円 (+15億円)

- 売上増により増益を見込む

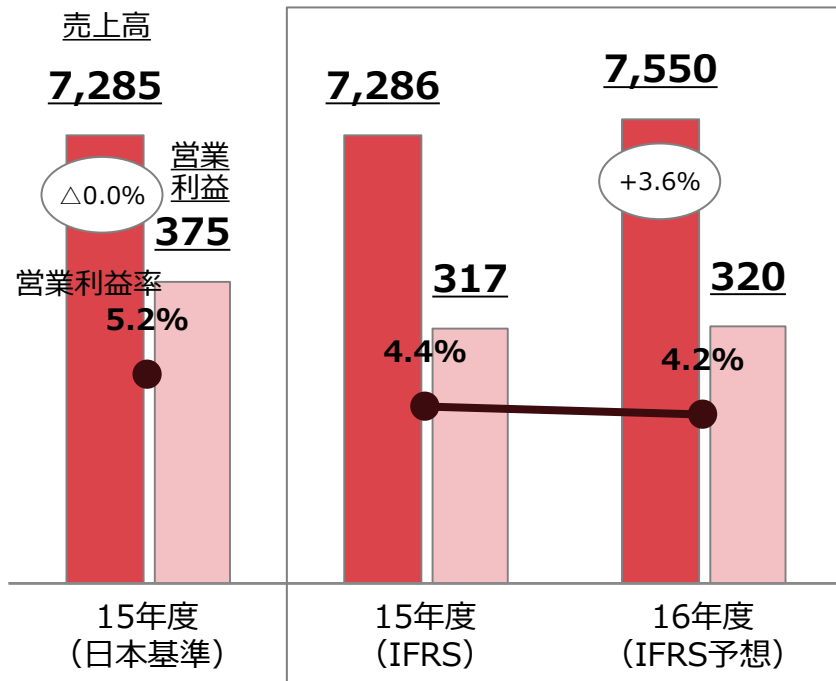
※ TOMS : Telecom Operations & Management Solutions
SDN : Software-Defined Networking
NFV : Network Functions Virtualization



※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり。予想値は、2016年4月28日現在、カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比



売上高 7,550億円 (+3.6%)

- サービスや企業ネットワークを中心に増加*を見込む

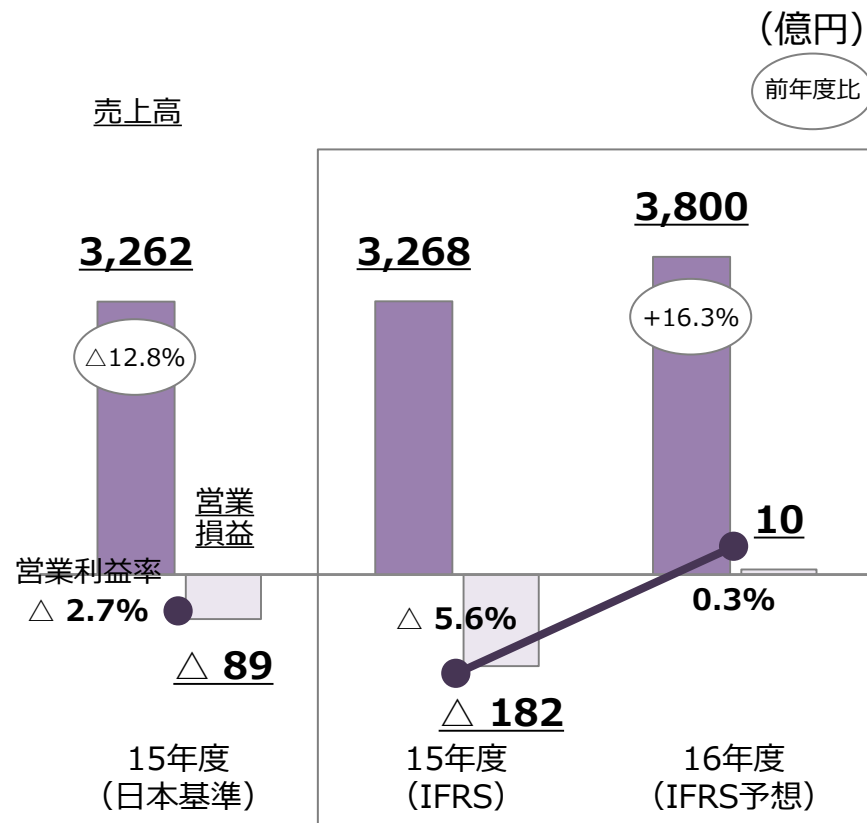
* 一部事業の移管 (+約100億円) を含む

営業利益 320億円 (+3億円)

- 売上増も、プロジェクトミックスの悪化などにより横ばいを見込む



※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり。予想値は、2016年4月28日現在、カッコ内の%は前年度比



売上高 3,800億円 (+16.3%)

- エネルギー事業は横ばいも、海外事業の拡大などにより増加*を見込む

* 一部事業の移管 (+ 約300億円) を含む

営業損益 10億円 (+192億円)

- エネルギー事業の損益改善などにより黒字化を見込む

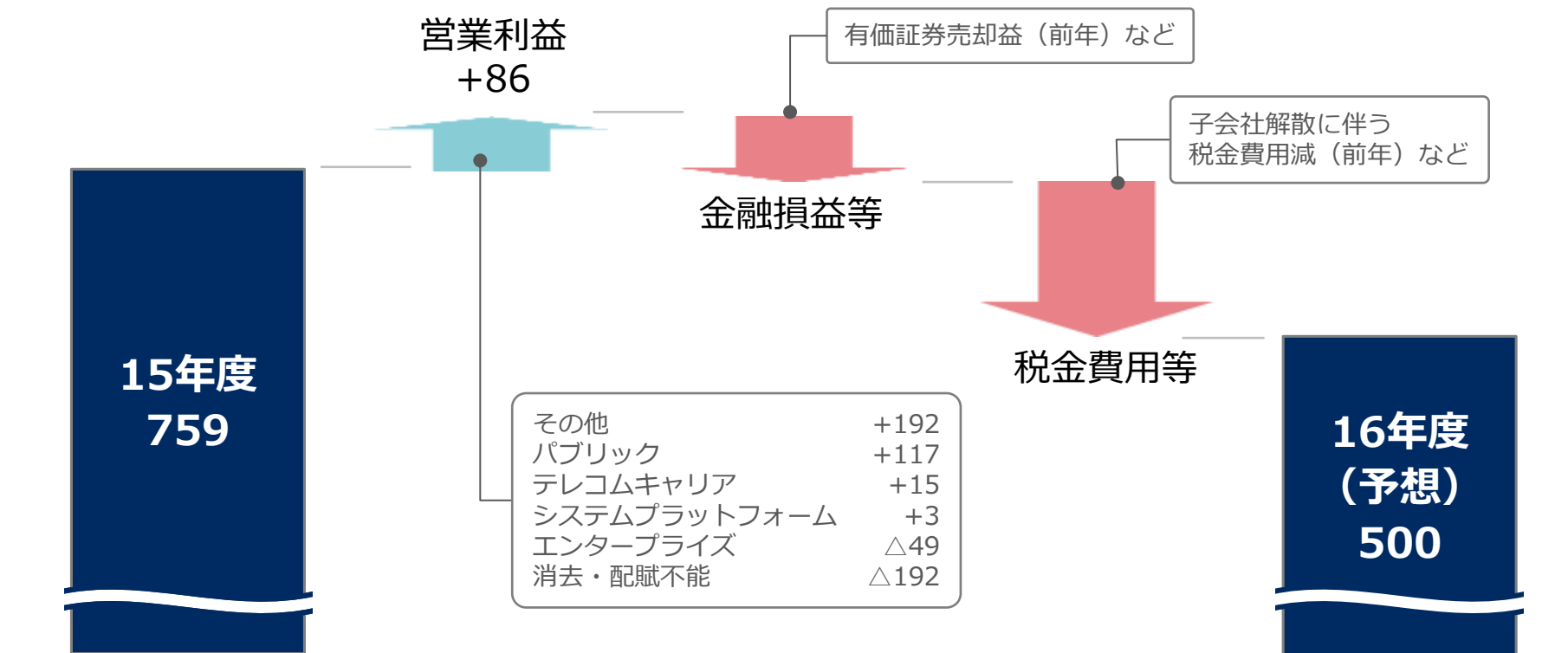


※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり。予想値は、2016年4月28日現在、カッコ内の%は前年度比

当期利益増減（前年度比）

16予想
(IFRS)

(億円)



※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり。予想値は、2016年4月28日現在

\Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

 **Orchestrating** a brighter world

NEC

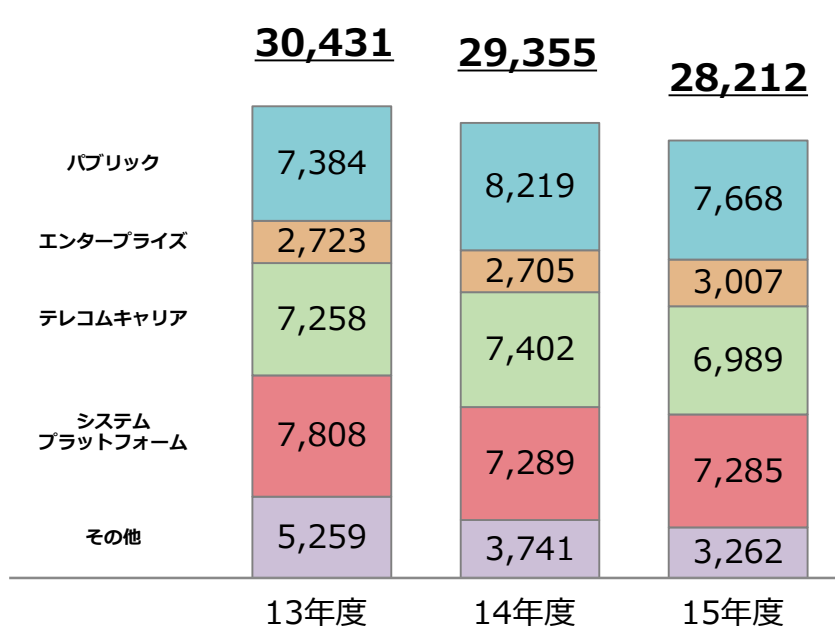
2015年度 決算概要（補足）

セグメント別 実績（3カ年推移）

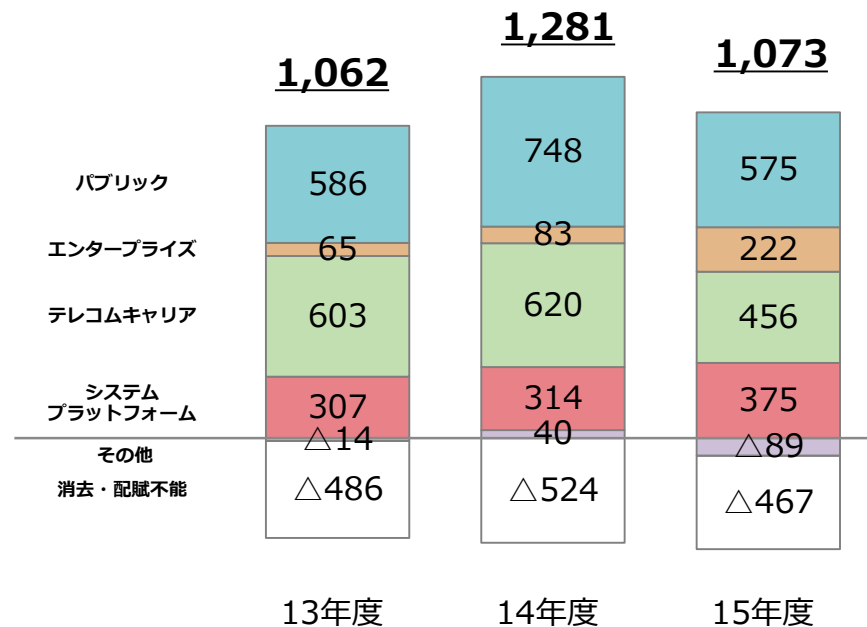
15実績
(日本基準)

(億円)

売上高

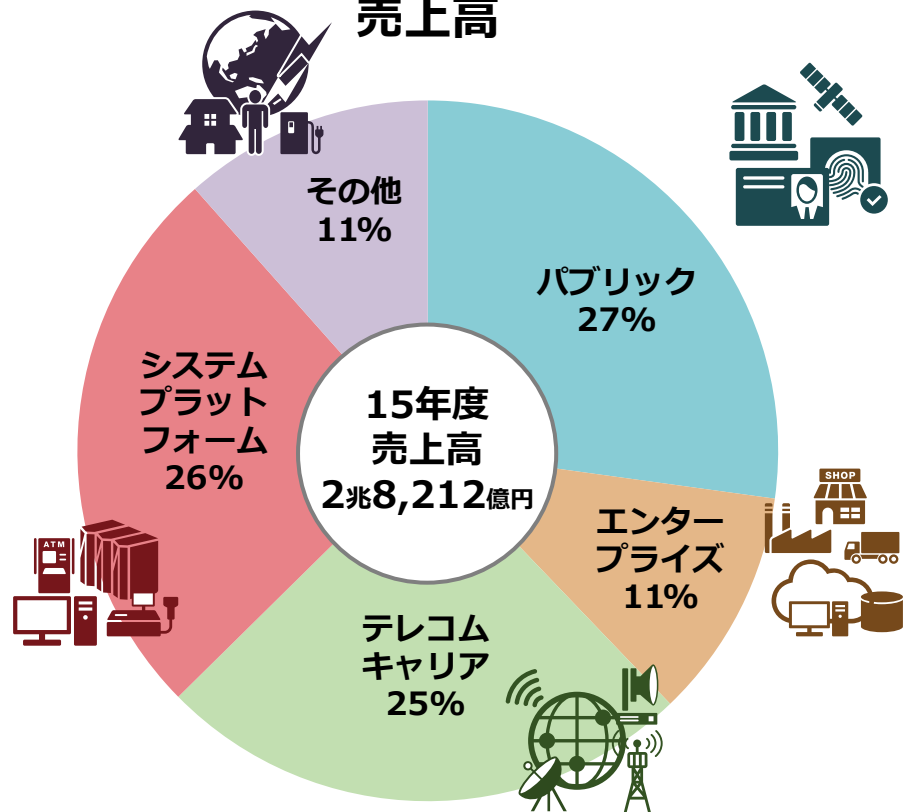


営業損益

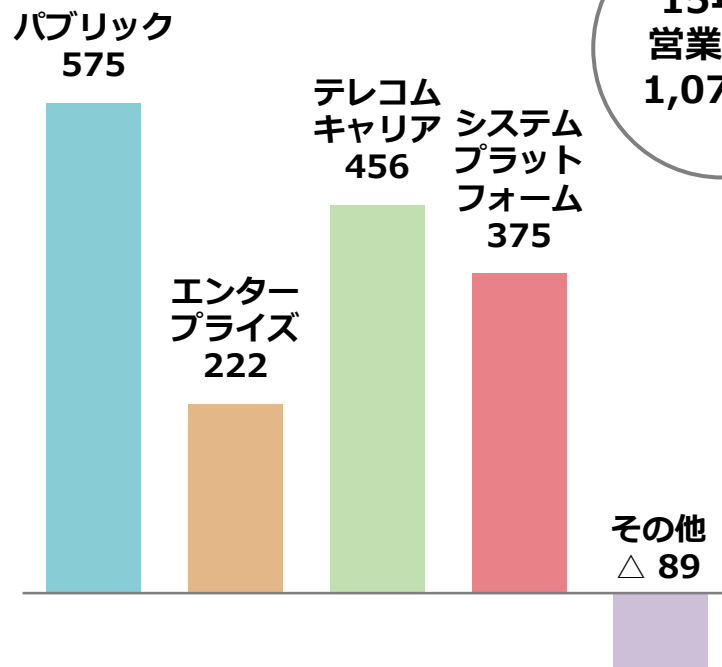


(億円)

売上高



営業損益

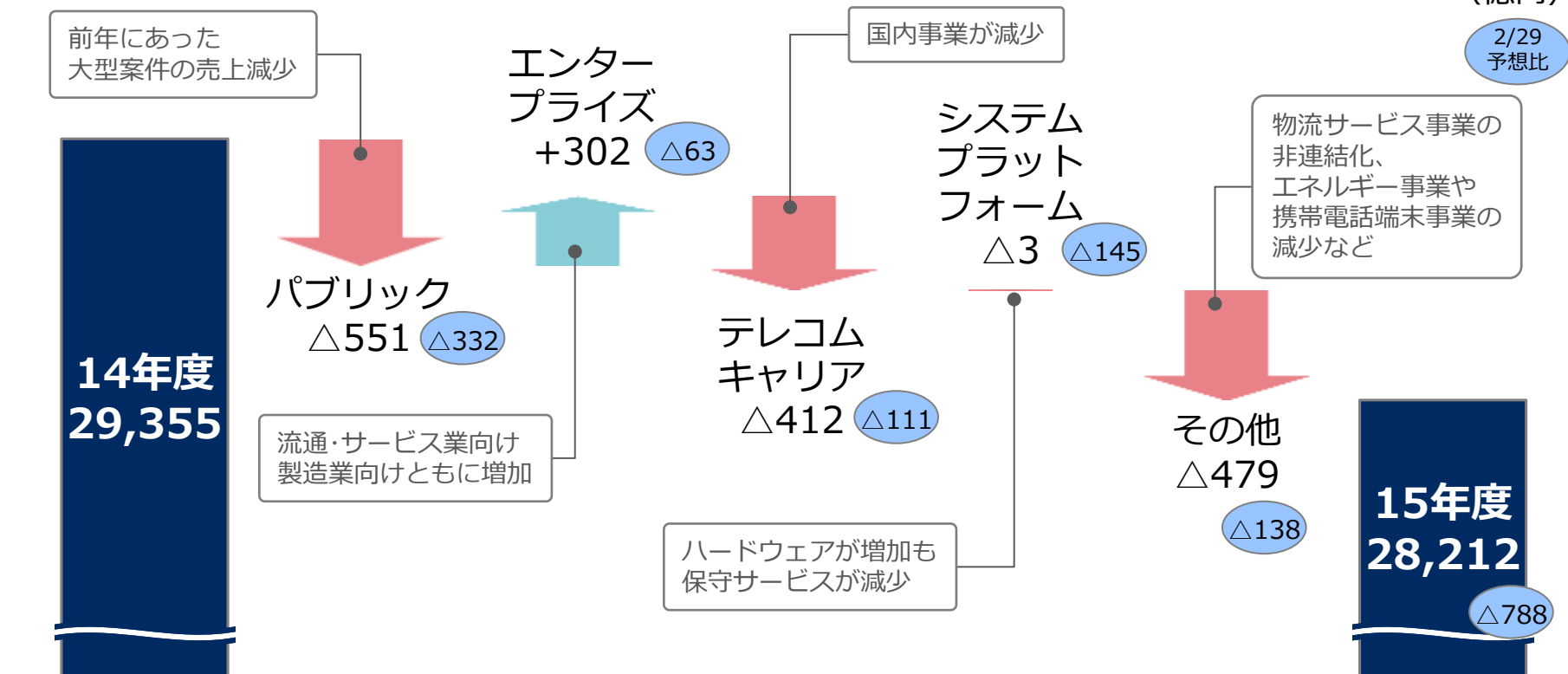


売上高増減（前年度比）

15実績
(日本基準)

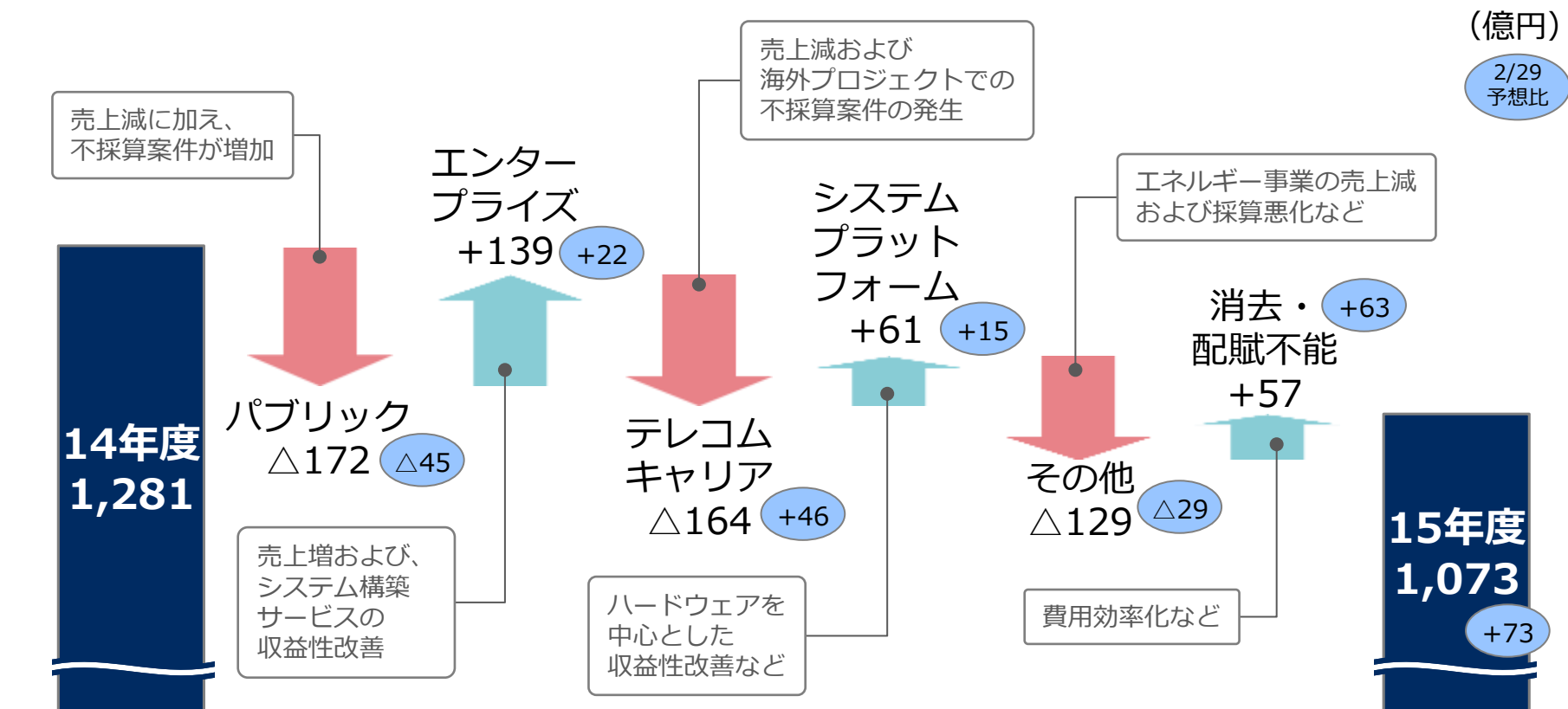
(億円)

2/29
予想比

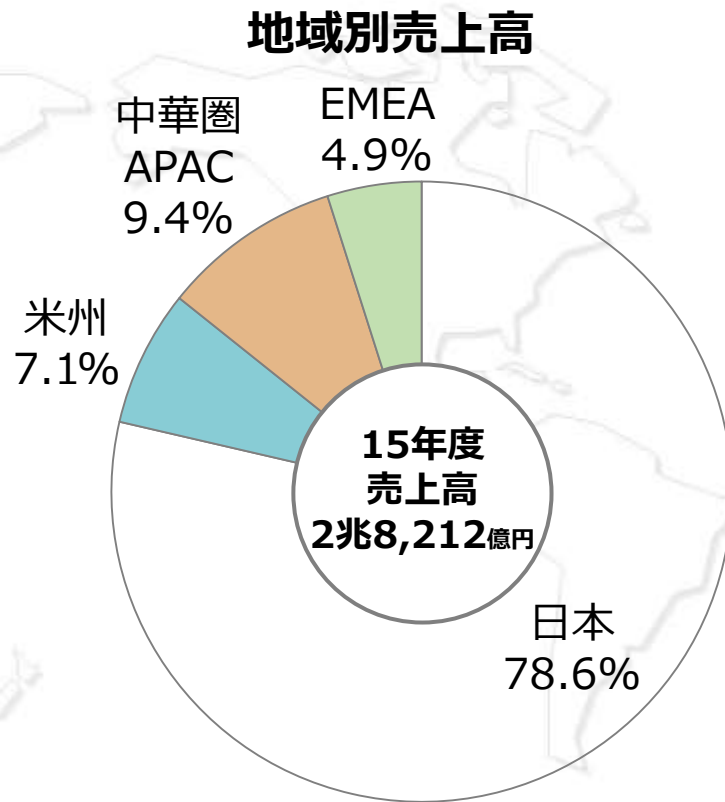
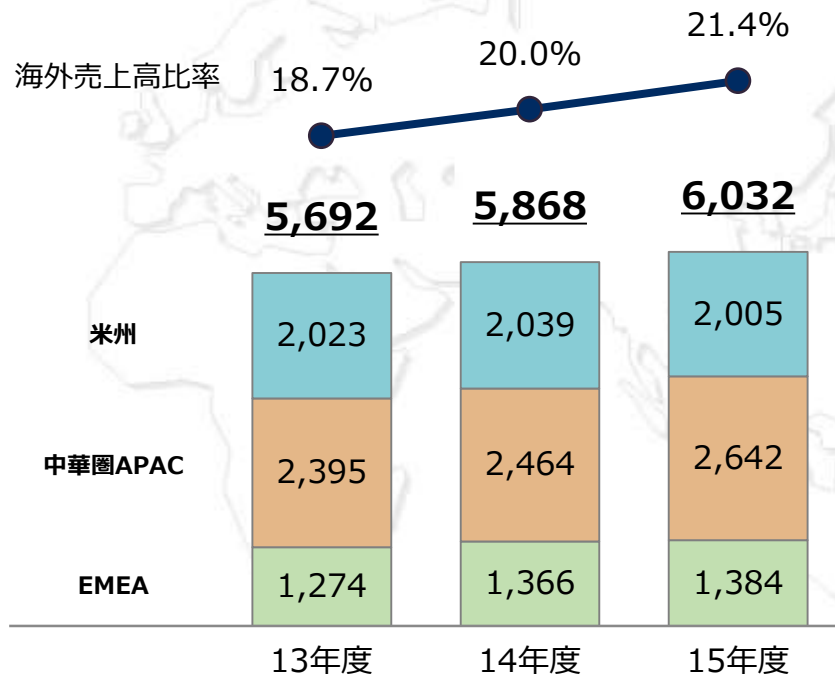


営業利益増減（前年度比）

15実績
（日本基準）



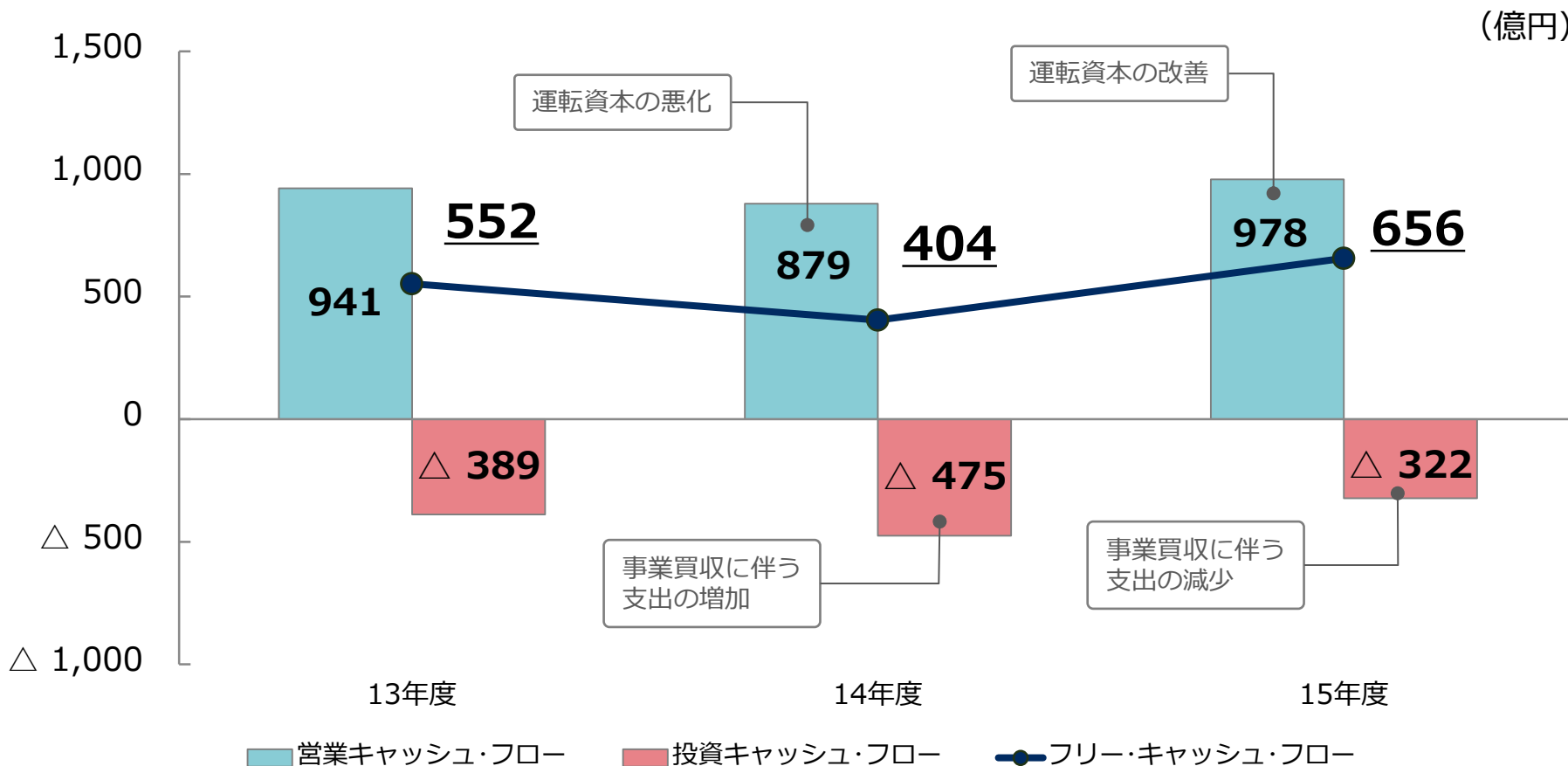
(億円)



※ 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

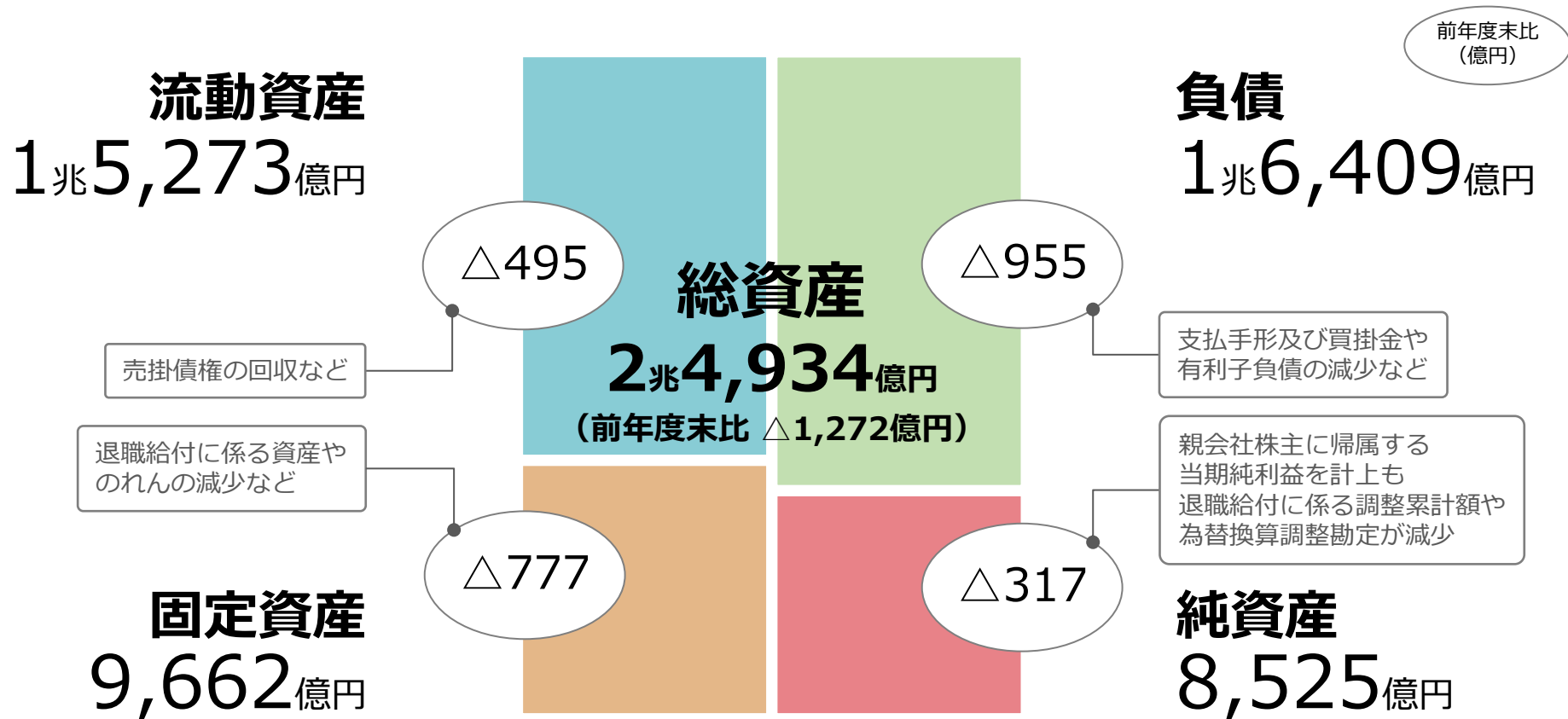
フリー・キャッシュ・フローの状況

15実績
(日本基準)



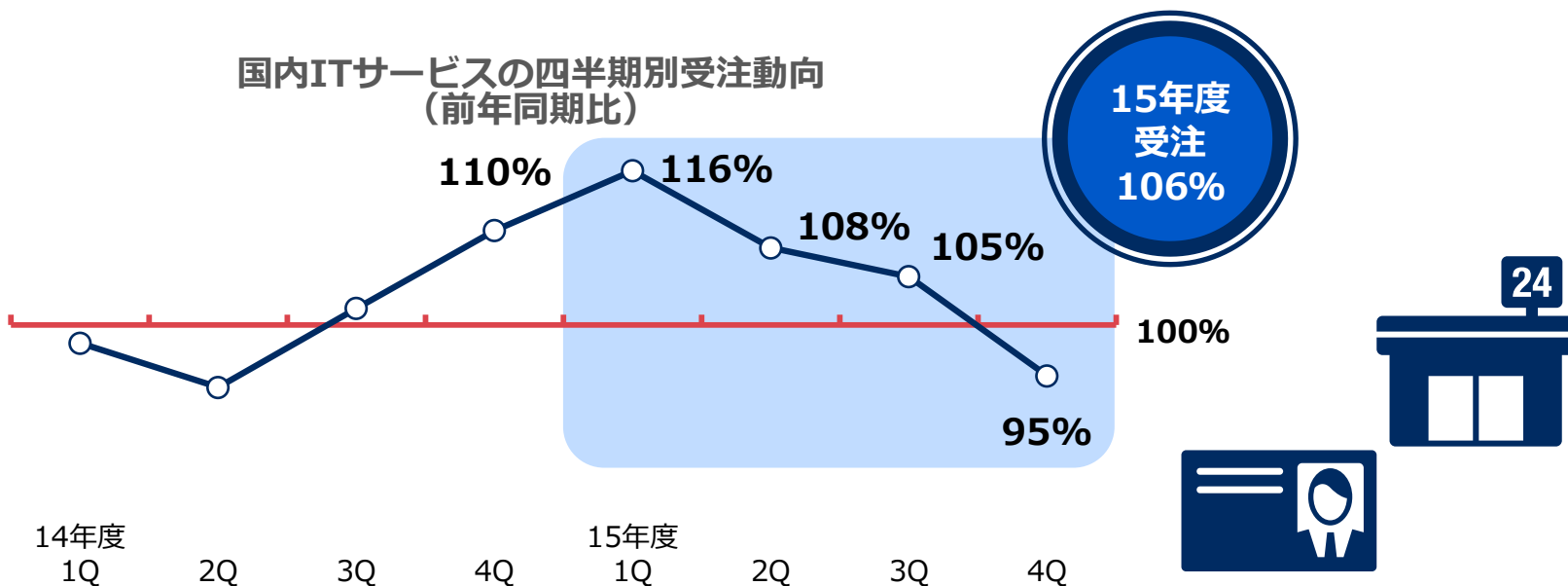
(億円)

	15/3末	16/3末	15/3末比
総 資 産	26,207	24,934	△ 1,272
純 資 産	8,842	8,525	△ 317
有 利 子 負 債 残 高	5,208	4,810	△ 398
自 己 資 本 自己資本比率 (%)	8,237 31.4%	7,921 31.8%	△ 316 + 0.4pt
D / E レ シ オ (倍)	0.63	0.61	+ 0.02pt
ネ ッ ト D / E レ シ オ (倍)	0.41	0.36	+ 0.05pt
現金及び現金同等物の期末残高	1,811	1,923	+ 112



国内IT投資（サービス/ハードウェア）の受注は高水準で推移

15年度の国内ITサービスは、流通・サービス業や公共を中心に伸長



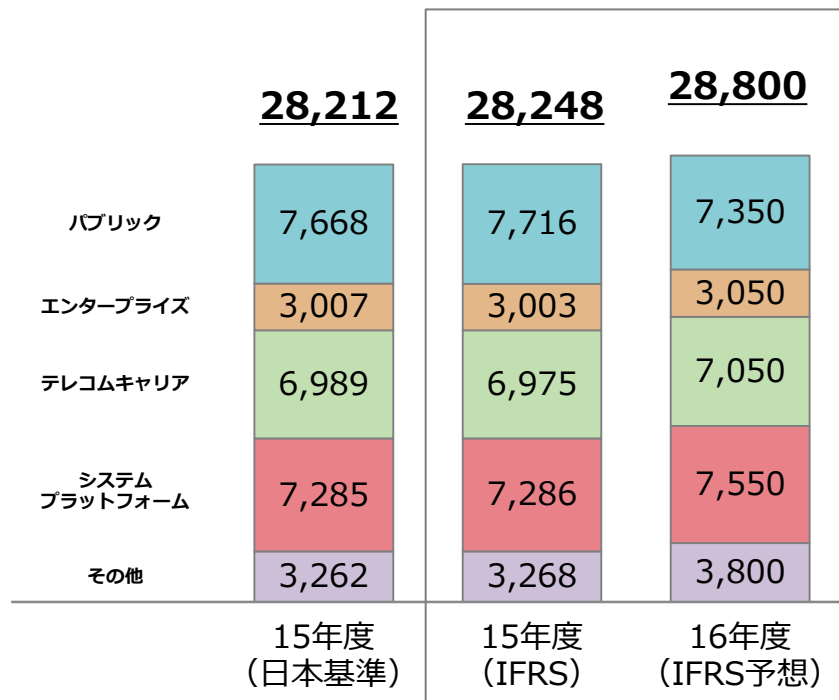
2016年度 業績予想（補足）

セグメント別 業績予想（2カ年推移）

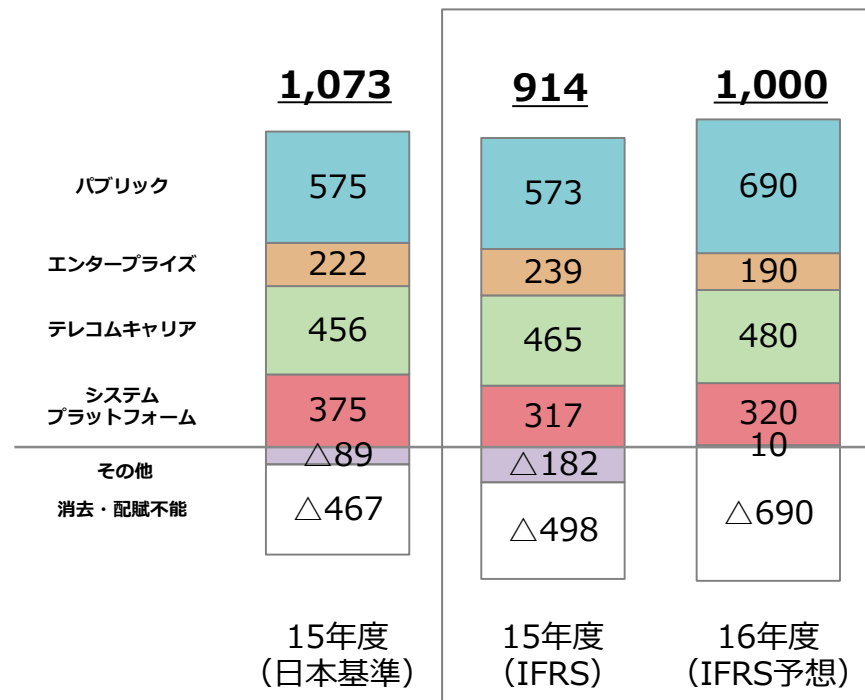
16予想
(IFRS)

(億円)

売上高



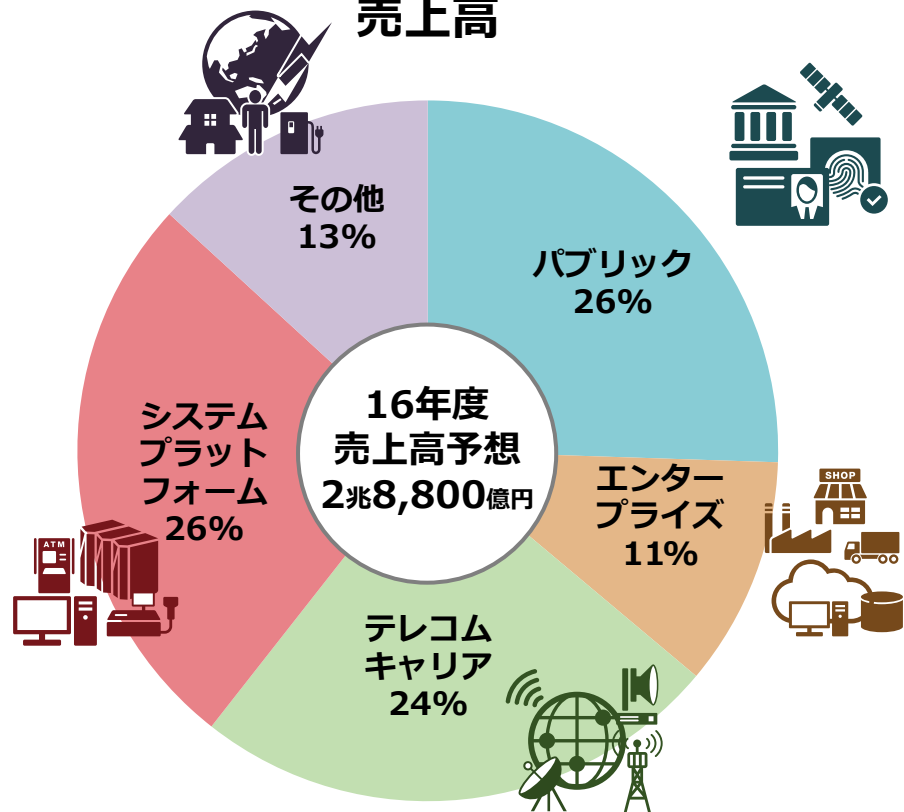
営業損益



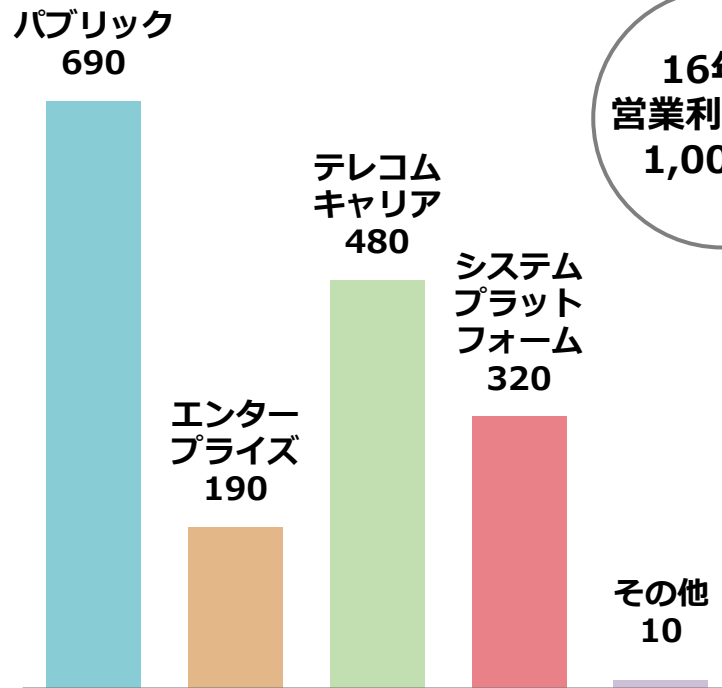
※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり。予想値は、2016年4月28日現在

(億円)

売上高



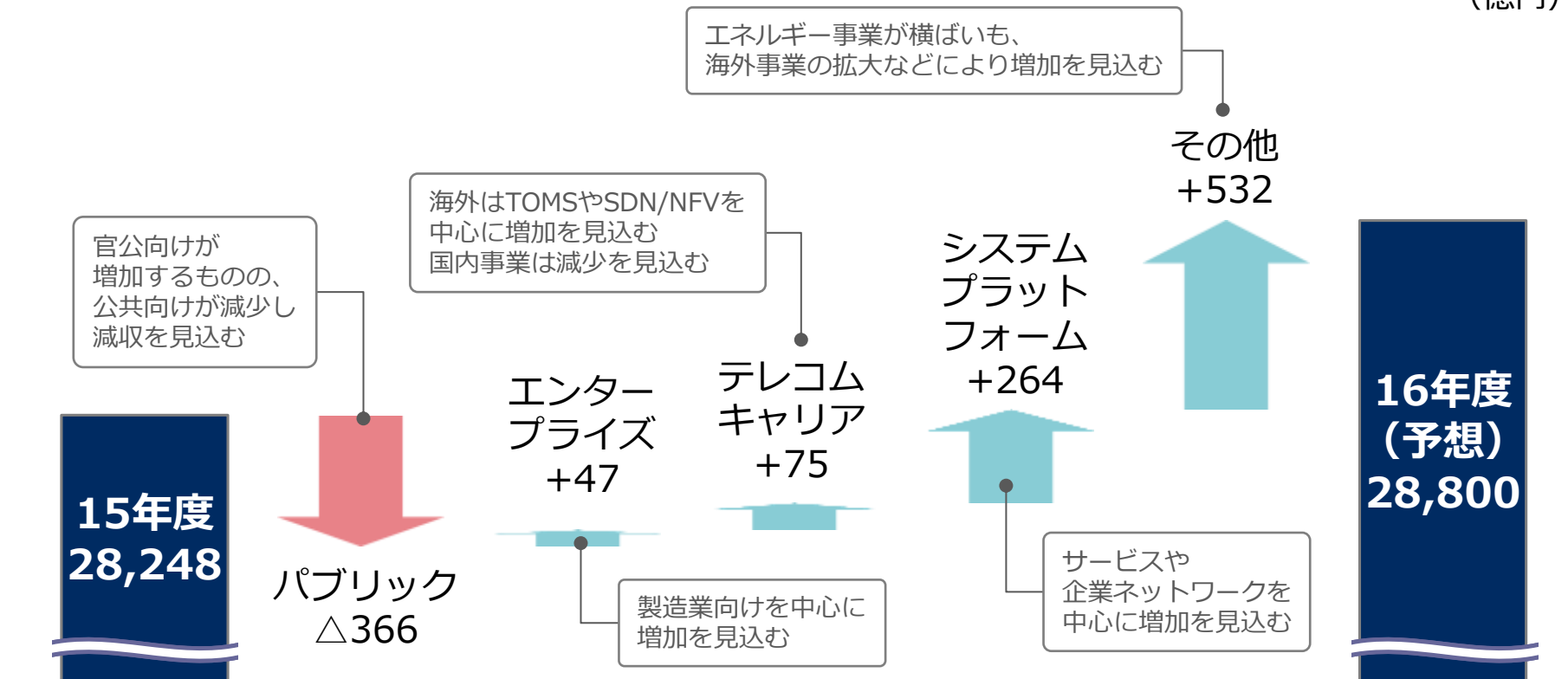
営業利益



16年度
営業利益予想
1,000億円

※ 予想値は、2016年4月28日現在

(億円)

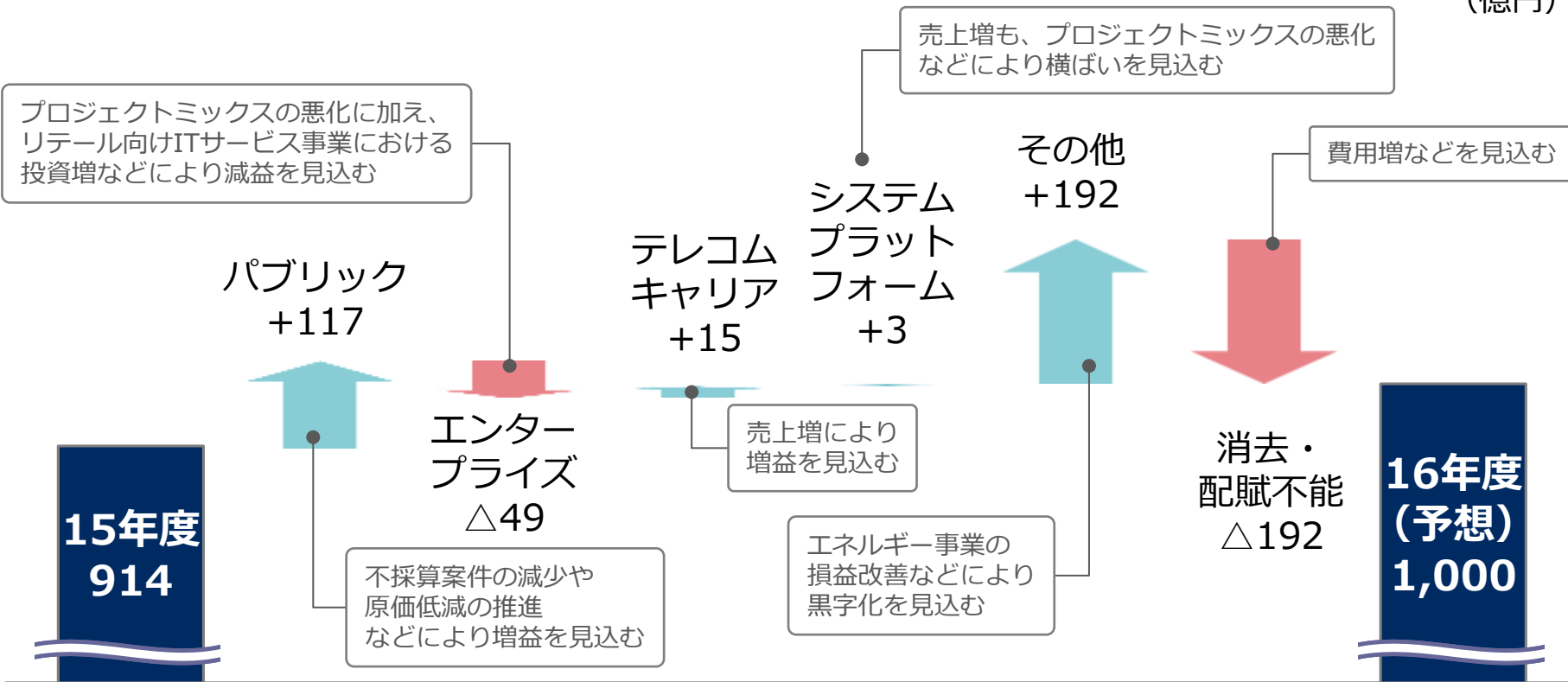


※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり。予想値は、2016年4月28日現在

営業利益増減（前年度比）

16予想
(IFRS)

(億円)



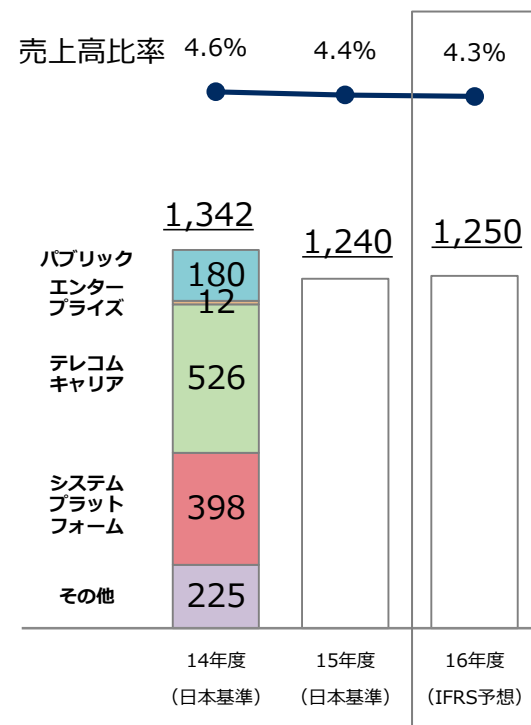
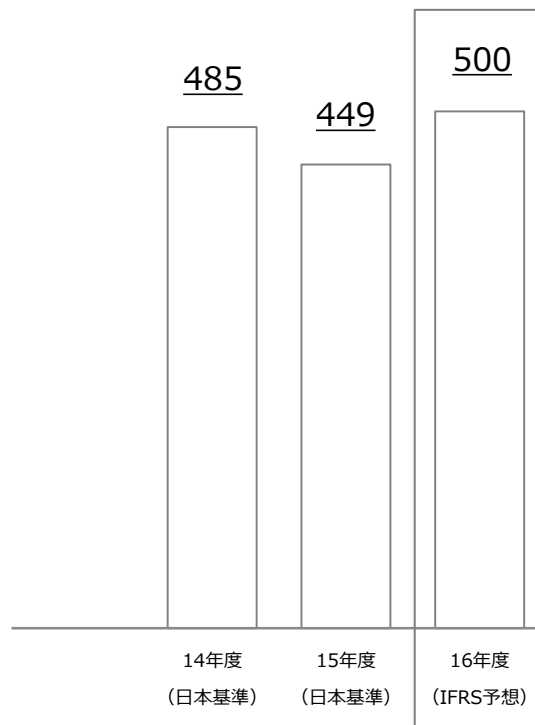
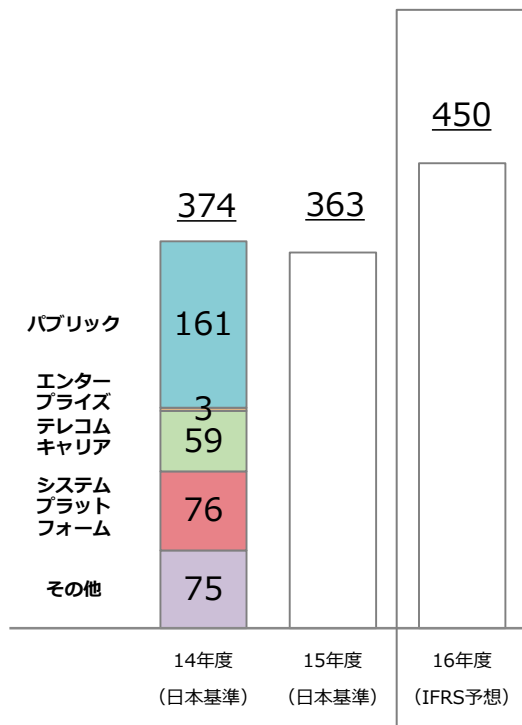
※ 15年度のIFRSに基づく実績は未監査であり、会計監査の結果により変更となる可能性あり。予想値は、2016年4月28日現在

(億円)

設備投資額

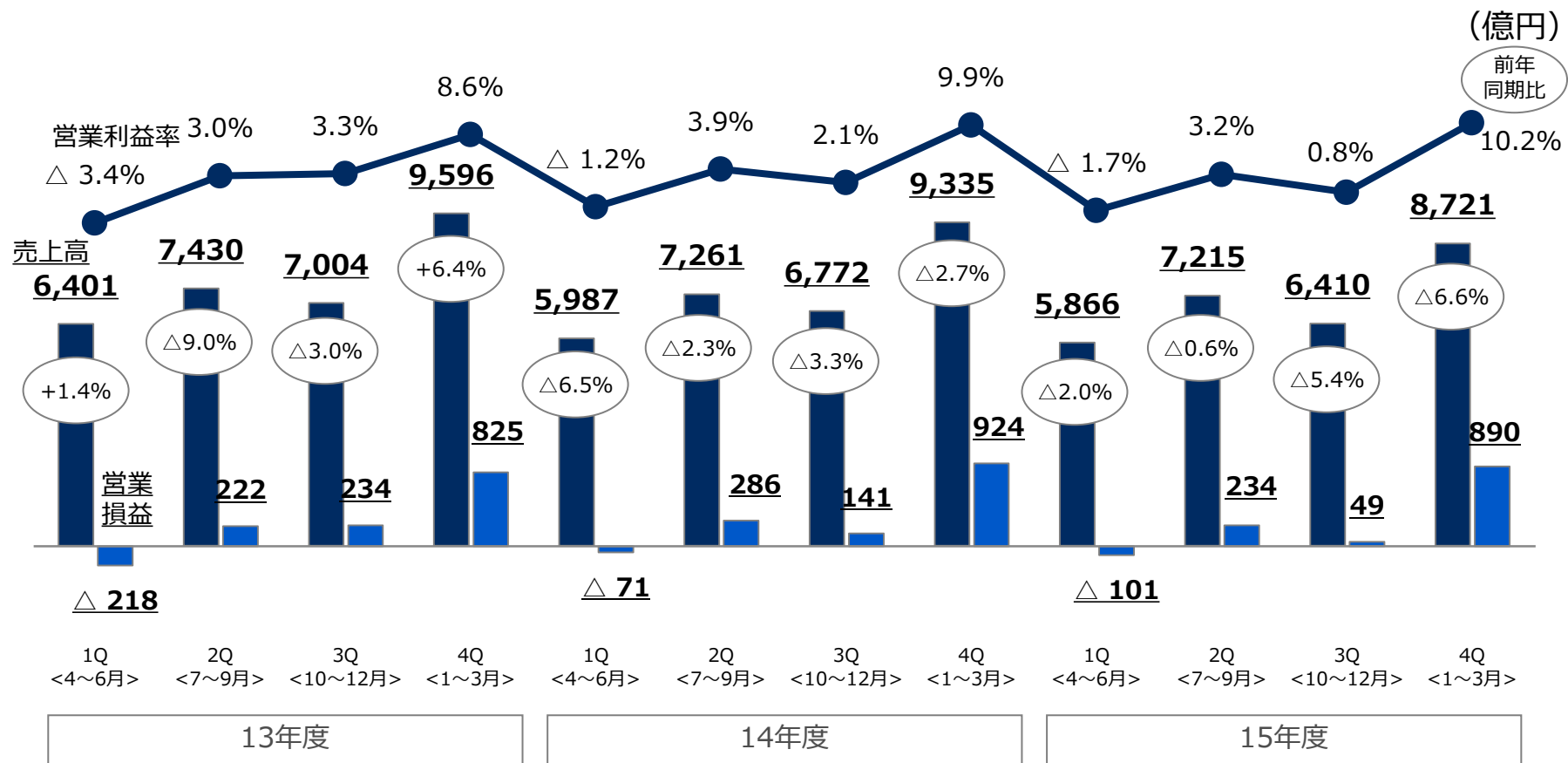
減価償却費

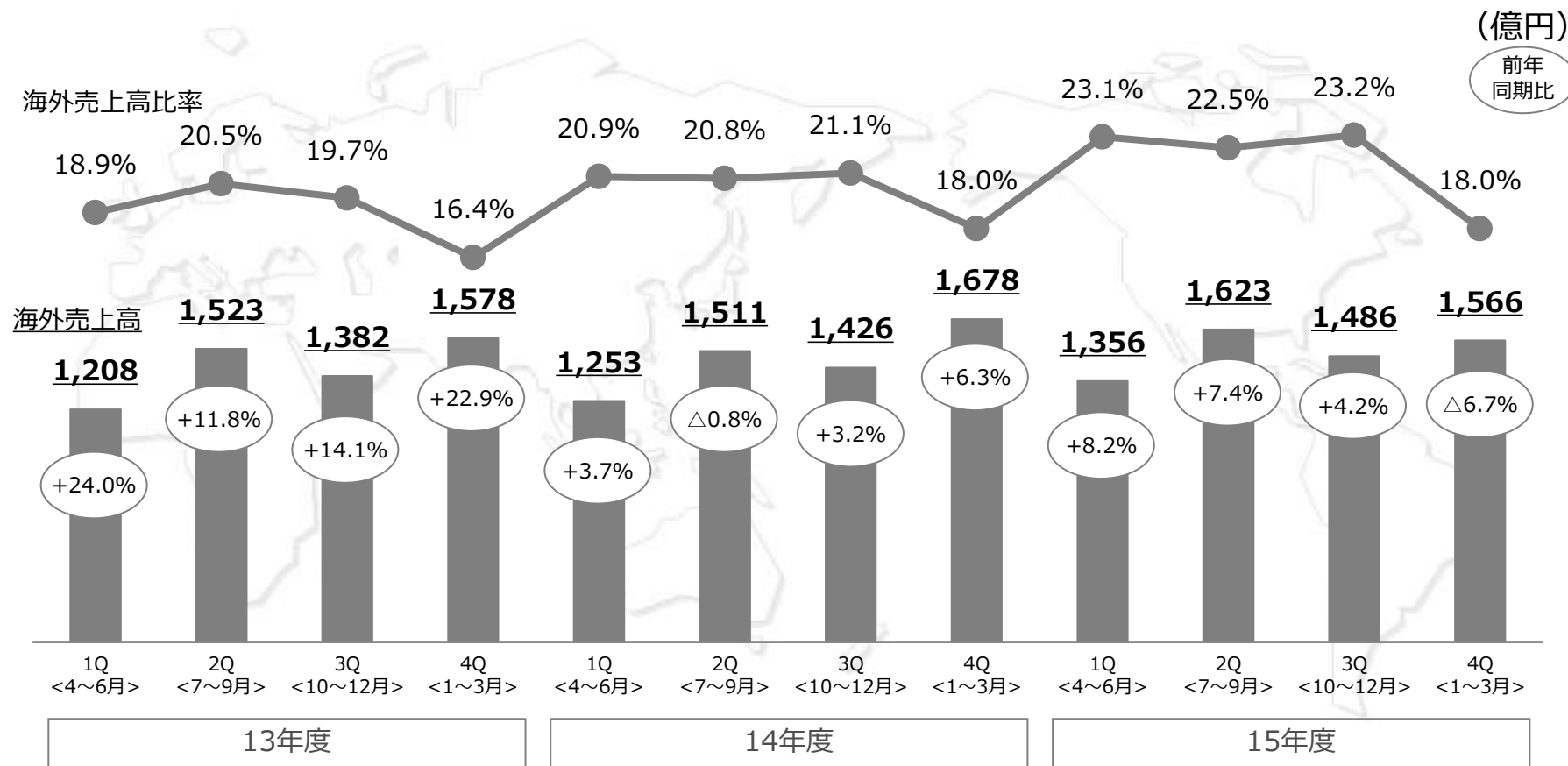
研究開発費



※ 予想値は、2016年4月28日現在

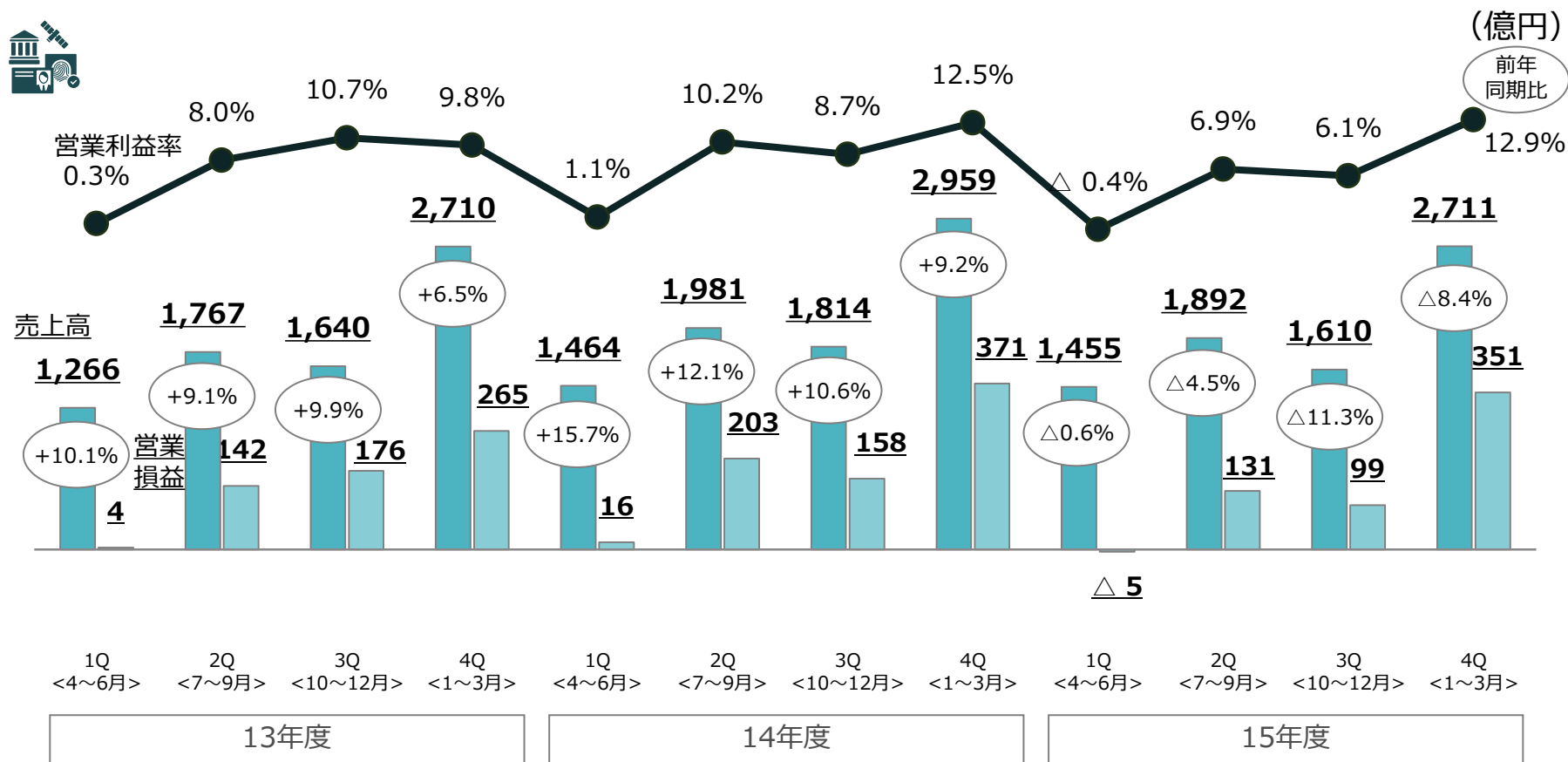
参考資料（業績データ）





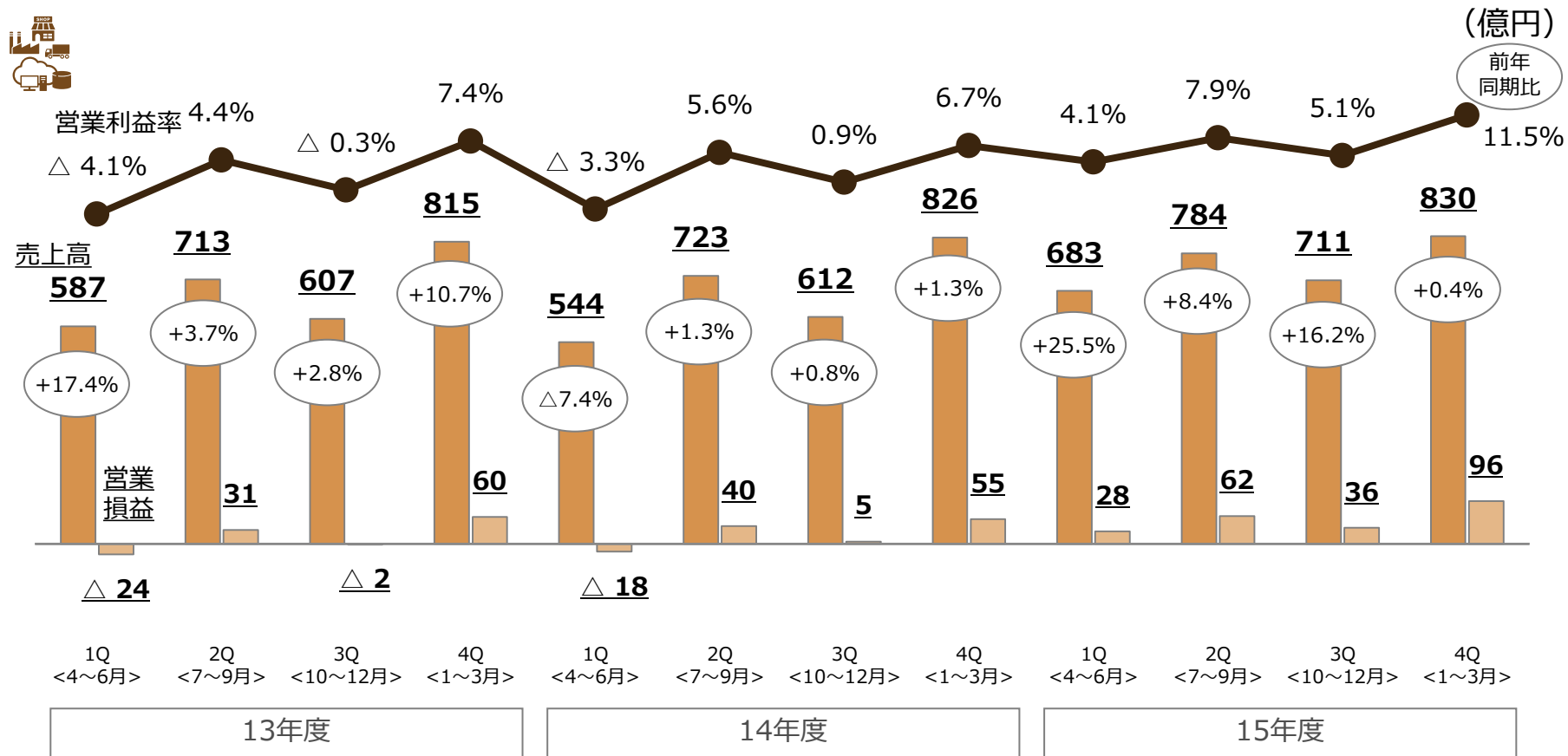
パブリック 売上高・営業損益推移

日本基準



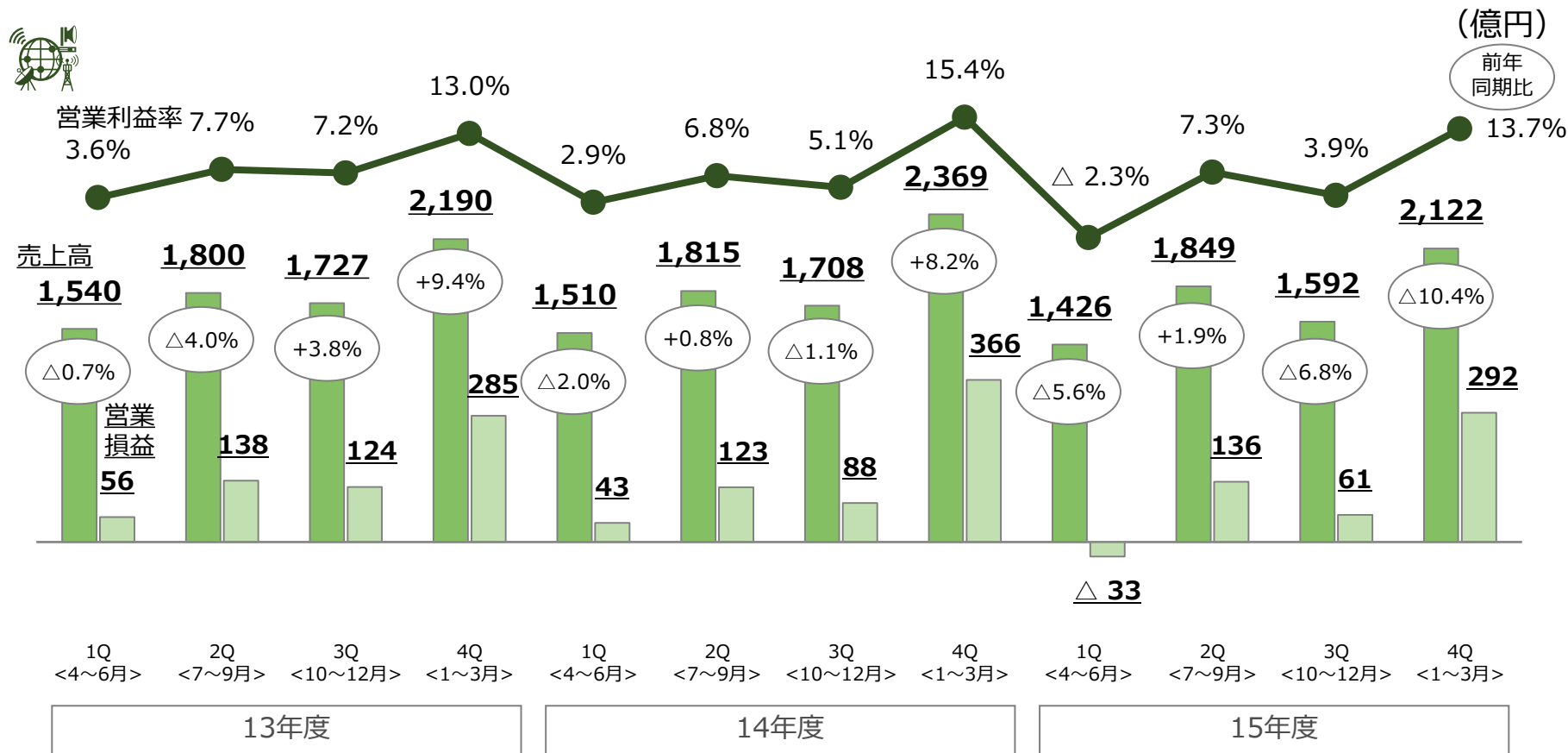
エンタープライズ 売上高・営業損益推移

日本基準



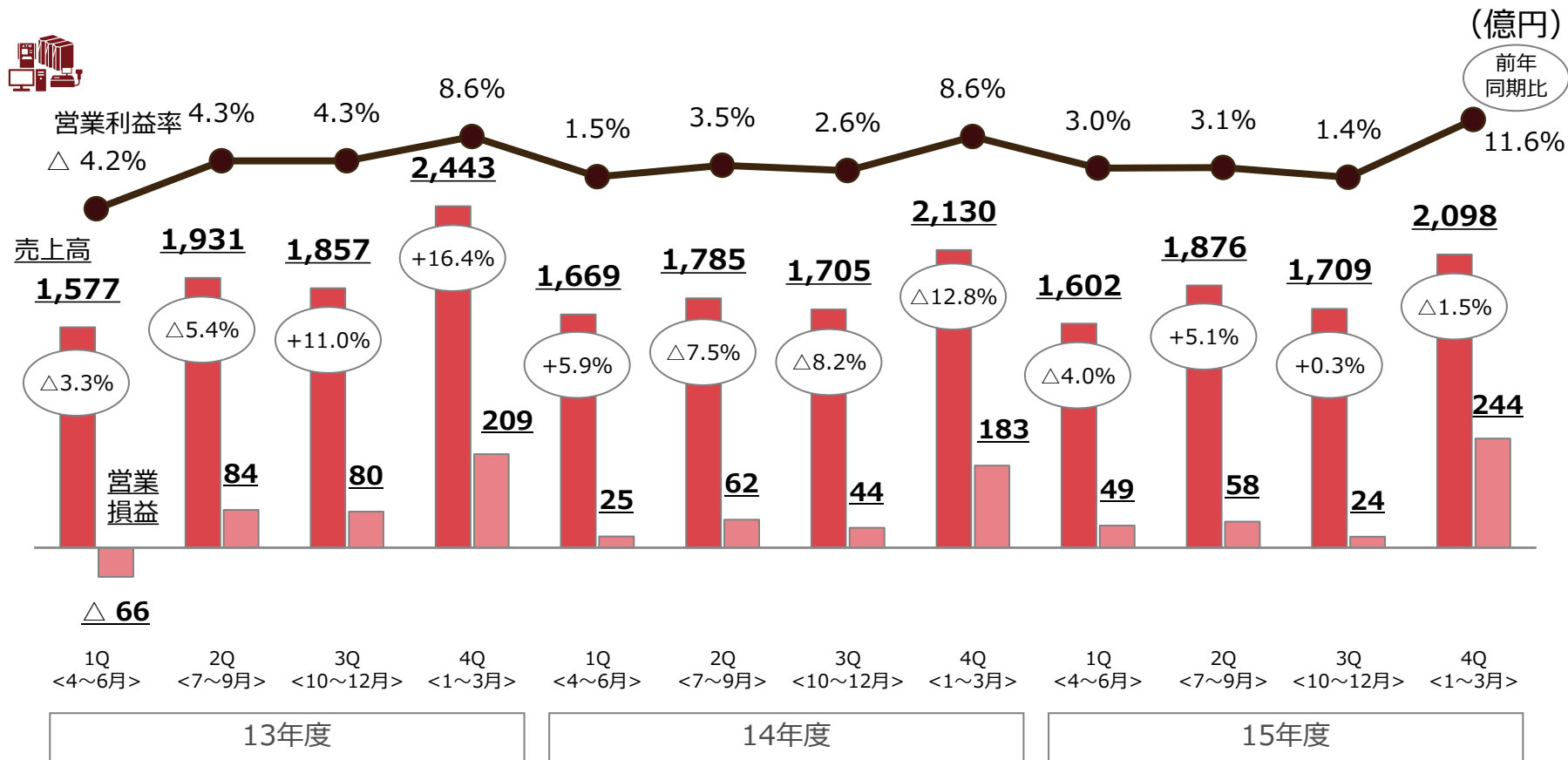
テレコムキャリア 売上高・営業損益推移

日本基準



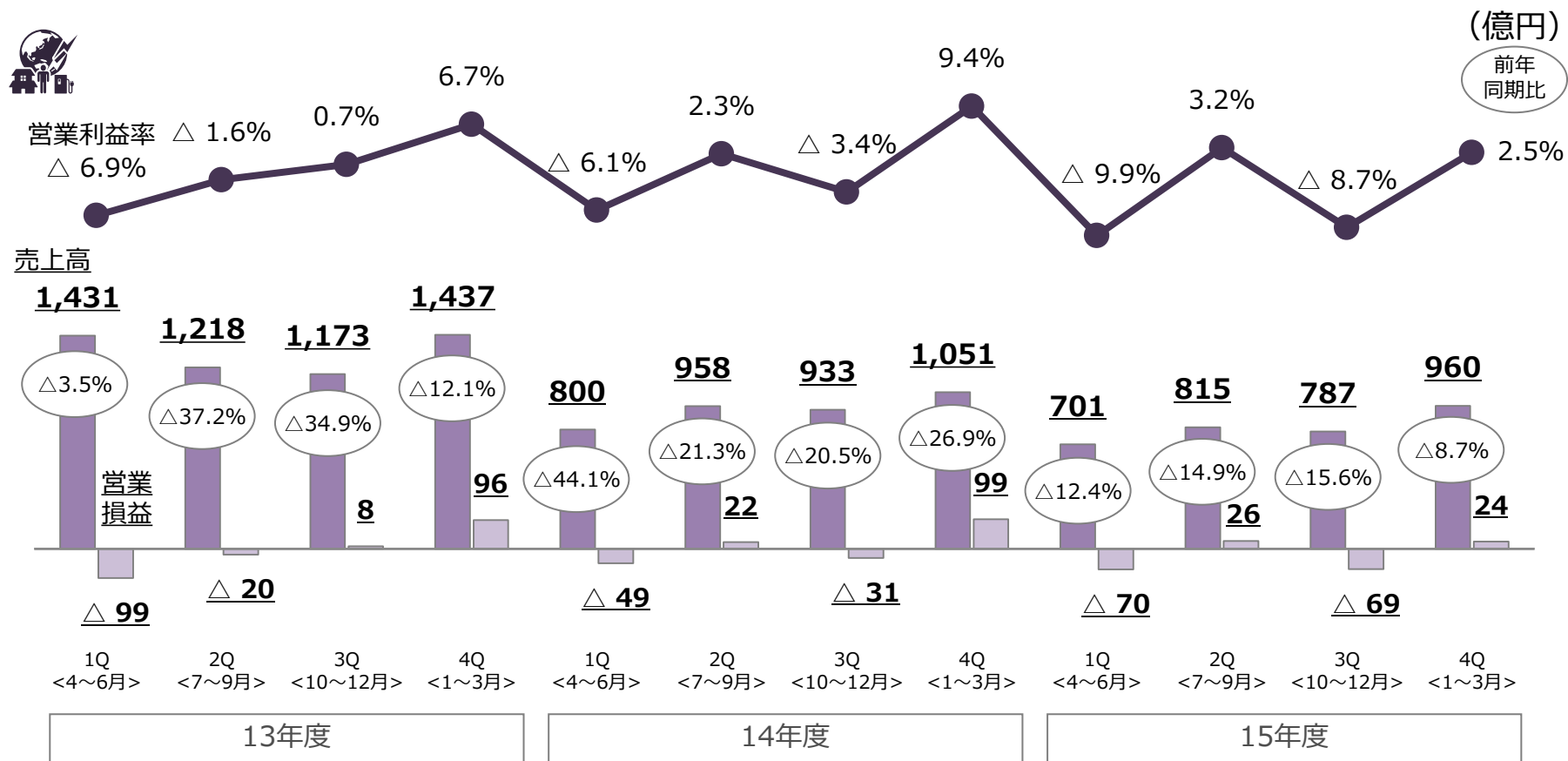
システムプラットフォーム 売上高・営業損益推移

日本基準



その他 売上高・営業損益推移

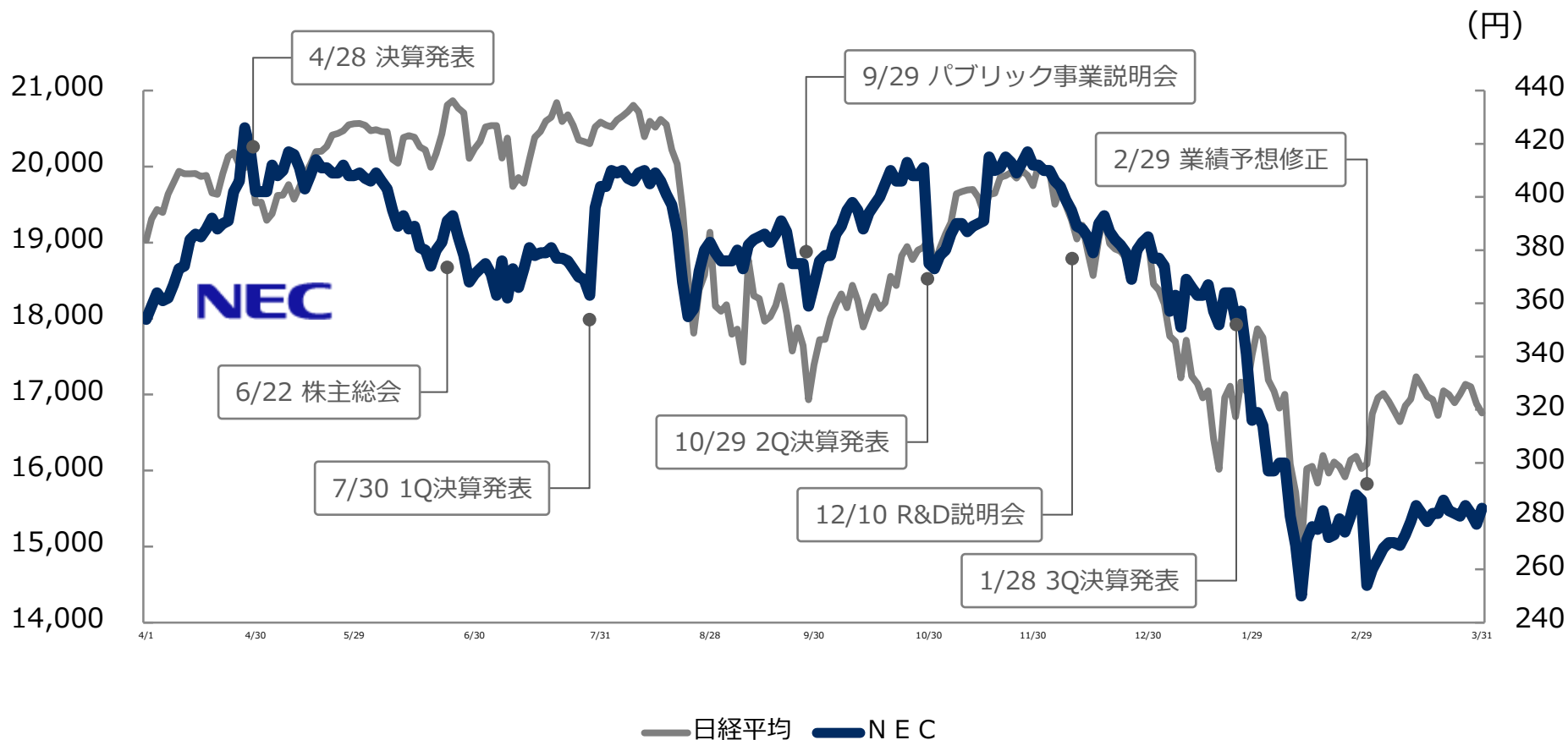
日本基準



為替レート推移



株価の推移



<将来予想に関する注意>

本資料に記載されているNECグループに関する業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。これらの判断および前提は、その性質上、主観的かつ不確実です。また、かかる将来に関する記述はそのとおりに実現するという保証はなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- ・ 経済動向、市況変動、為替変動および金利変動
- ・ NECグループがコントロールできない動向や外部要因による財務および収益の変動
- ・ 企業買収等が期待した利益をもたらさない、または、予期せぬ負の結果をもたらす可能性
- ・ 戦略的パートナーとの提携関係の成否
- ・ 海外事業の拡大が奏功しない可能性
- ・ 技術革新・顧客ニーズへの対応ができない可能性
- ・ 製造工程に関する問題による減収または需要の変動に対応できない可能性
- ・ 製品・サービスの欠陥による責任追及または不採算プロジェクトの発生
- ・ 供給の遅延等による調達資材等の不足または調達コストの増加
- ・ 事業に必要な知的財産権等の取得の成否およびその保護が不十分である可能性
- ・ 第三者からのライセンスが取得または継続できなくなる可能性
- ・ 競争の激化により厳しい価格競争等にさらされる可能性
- ・ 特定の主要顧客が設備投資額もしくはNECグループとの取引額を削減し、または投資対象を変更する可能性
- ・ 顧客が受け入れ可能な条件でのベンダーファイナンス等の財務支援を行えない可能性および顧客の財政上の問題に伴い負担する顧客の信用リスクの顕在化
- ・ 優秀な人材を確保できない可能性
- ・ 格付の低下等により資金調達力が悪化する可能性
- ・ 内部統制、法的手続、法的規制、環境規制、税務、情報管理、人権・労働環境等に関連して多額の費用、損害等が発生する可能性
- ・ 自然災害や火災等の災害
- ・ 会計方針を適用する際に用いる方法、見積および判断が業績等に影響を及ぼす可能性、債券および株式の時価の変動、会計方針の新たな適用や変更
- ・ 退職給付債務にかかる負債および損失等が発生する可能性

将来予想に関する記述は、あくまでも本資料の日付における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じ得るものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、当社がこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

(注) 年度表記について、13年度は2014年3月期、14年度は2015年3月期（以降も同様）を表しています。